

平成25年度

2回生進級時アンケート

京都大学国際高等教育院

目 次

調査の趣旨と概要.....	1
1 学習意欲などの変化.....	3
1. 1 学習意欲の変化.....	3
1. 2 出席コマ数の変化.....	4
1. 3 授業外学習時間の変化.....	4
2 成績評価への納得度.....	5
2. 1 成績評価全体への納得度.....	5
2. 2 成績評価に納得できない理由.....	6
2. 3 「納得できない理由：その他」の記述内容.....	7
3 「満足した科目」「不満だった科目」.....	8
3. 1 「満足した科目」とその理由.....	8
3. 1. 1 科目群別の集計.....	8
3. 1. 2 「満足した理由」の分析.....	9
3. 1. 3 「満足した理由：その他」の記述内容.....	10
3. 2 「不満だった科目」とその理由.....	13
3. 2. 1 科目群別の集計.....	13
3. 2. 2 「不満だった理由」の分析.....	14
3. 2. 3 「不満だった理由：その他」の記述内容.....	15
4 全学共通科目への期待.....	18
5 期待は実現されたか.....	20
6 今後の全学共通科目への要望.....	21
6. 1 項目別集計.....	21
6. 2 「改善の要望：その他」の記述内容.....	23
7 自由記述.....	26
7. 1 総合人間学部.....	26
7. 2 文学部.....	27
7. 3 教育学部.....	29
7. 4 法学部.....	30
7. 5 経済学部.....	33
7. 6 理学部.....	35
7. 7 医学部.....	39
7. 8 薬学部.....	41
7. 9 工学部.....	41
7. 10 農学部.....	49
【資料】平成 25 年度 2 回生進級時アンケート（KULASIS 掲載内容）.....	52

調査の趣旨と概要

対 象：学部新2回生（平成24年入学生対象）全員

調査の目的：学生が入学後1年間の大学生活の中で京都大学の教育に対してどのような感想を抱いたかについて2回生進級時点での意見を聞き、今後の京都大学の教育を改善・充実してゆくための重要な資料とする。

調査の概要：新入生ガイダンスの際、記入してもらった「新入生アンケート」の回答を学生に返却し、自分の入学当時の抱負・期待を読み返しつつ、1年間の全学共通科目を中心とした学習を振り返って、どんなことを感じあるいは考えたかについて率直な意見を表明してもらうよう求めている。

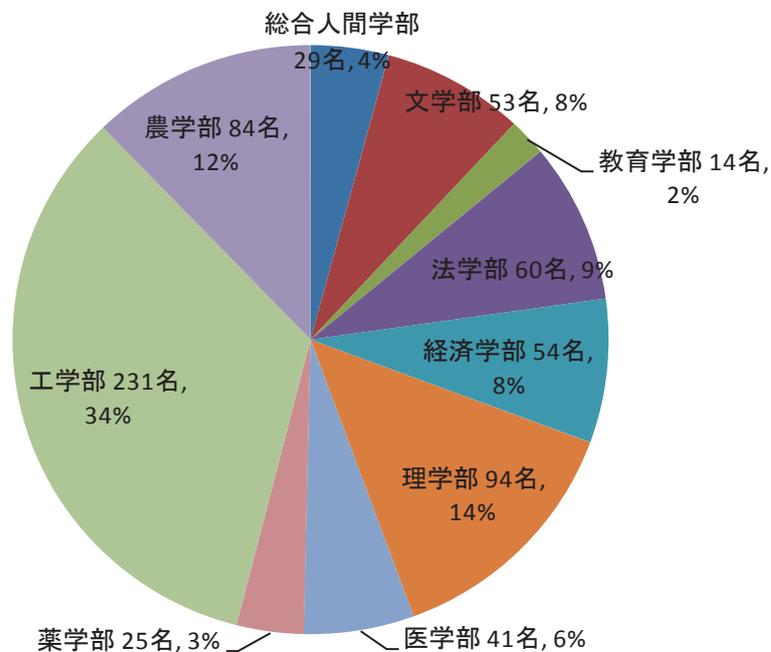
調査方法：KULASIS（京都大学教務情報システム）上でのアンケート方式をとっている。

平成25年4月、各学部新2回生が履修登録確認のためKULASISにログインした際、アンケートへの協力願いを掲示し、回答フォームに入力してもらうという方式をとった（アンケート全文は巻末に掲載している）。

表 0-1 学部別アンケート提出者数・提出率

学部	在籍者数 (2013/5/1 現在)			提出者数	提出率
	計	男	女		
総合人間学部	129	90	39	29	22.48%
文学部	224	112	112	53	23.66%
教育学部	60	40	20	14	23.33%
法学部	337	258	79	60	17.80%
経済学部	253	204	49	54	21.34%
理学部	314	283	31	94	29.94%
医学部	258	133	125	41	15.89%
薬学部	82	56	26	25	30.49%
工学部	998	920	78	231	23.15%
農学部	316	215	101	84	26.58%
合計	2,971	2,311	660	685	23.06%

図 0-1 学部別アンケート提出者数・構成比



1 学習意欲などの変化

問1 あなたの入学以降の学習についてお尋ねします。入学当初から現在までに、あなたの①学習意欲、②一週間に出席した授業のコマ数、③授業外の学習時間（授業の予復習や学術書・教養書の読書を含む）がどのように変化したかについて、右の「作成例」を参考にして表を完成させてください（学習意欲については、下記の5つから選択して番号を記入してください）。

（学習意欲） 5. 非常に意欲あり 4. まあまあ意欲あり 3. どちらともいえない
2. あまり意欲なし 1. まったく意欲なし

（作成例）

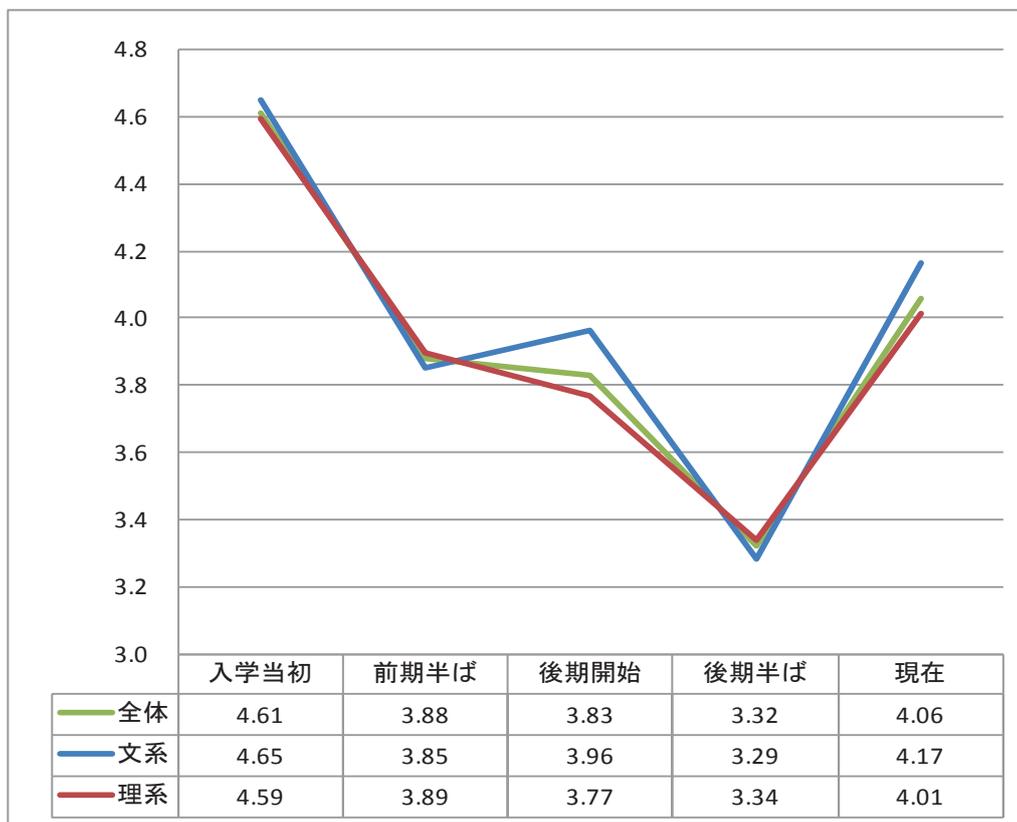
時期	学習意欲	授業出席コマ数/週	授業外学習時間/日
入学当初		コマ	時間
前期半ば		コマ	時間
後期開始		コマ	時間
後期半ば		コマ	時間
現在		コマ	時間

時期	学習意欲	授業出席コマ数/週	授業外学習時間/日
入学当初	5	15 コマ	1.5 時間
前期半ば	4	〃	〃
後期開	4	4 コマ	3 時間
後期半ば	4	〃	〃
現在	1	12 コマ	

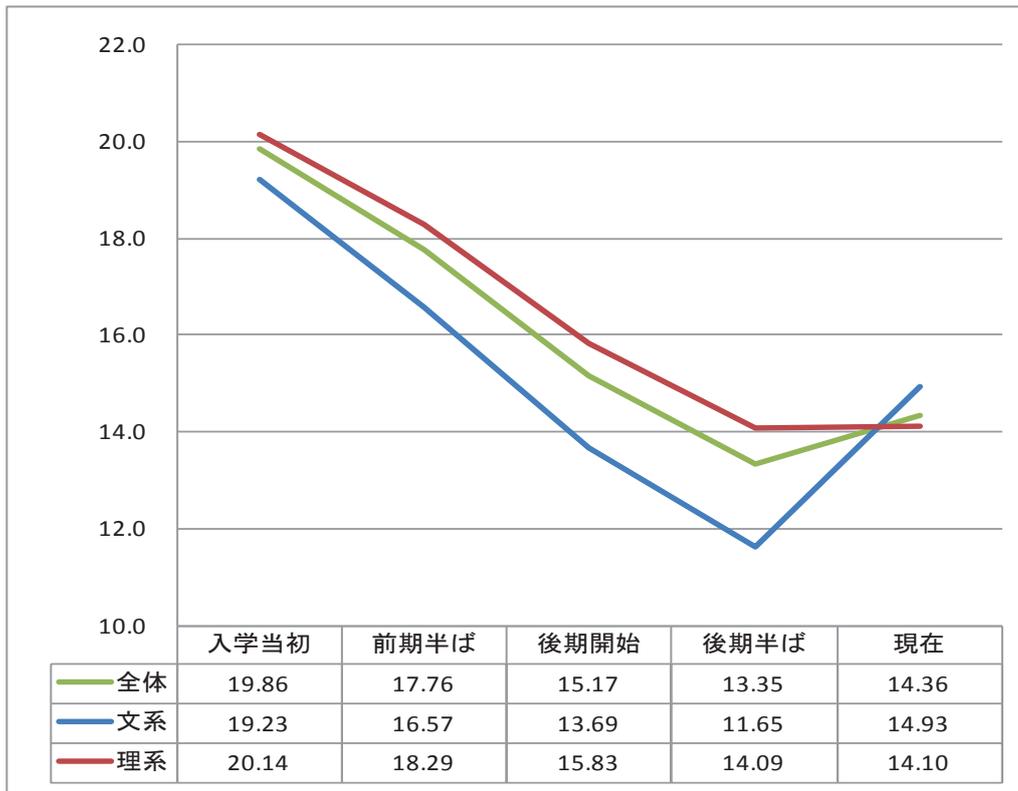
* あまり深く考えず「平均」「おおよそ」でご記入ください

* 現在の「授業出席コマ数」は、4月から出席を予定しているコマ数を記入してください

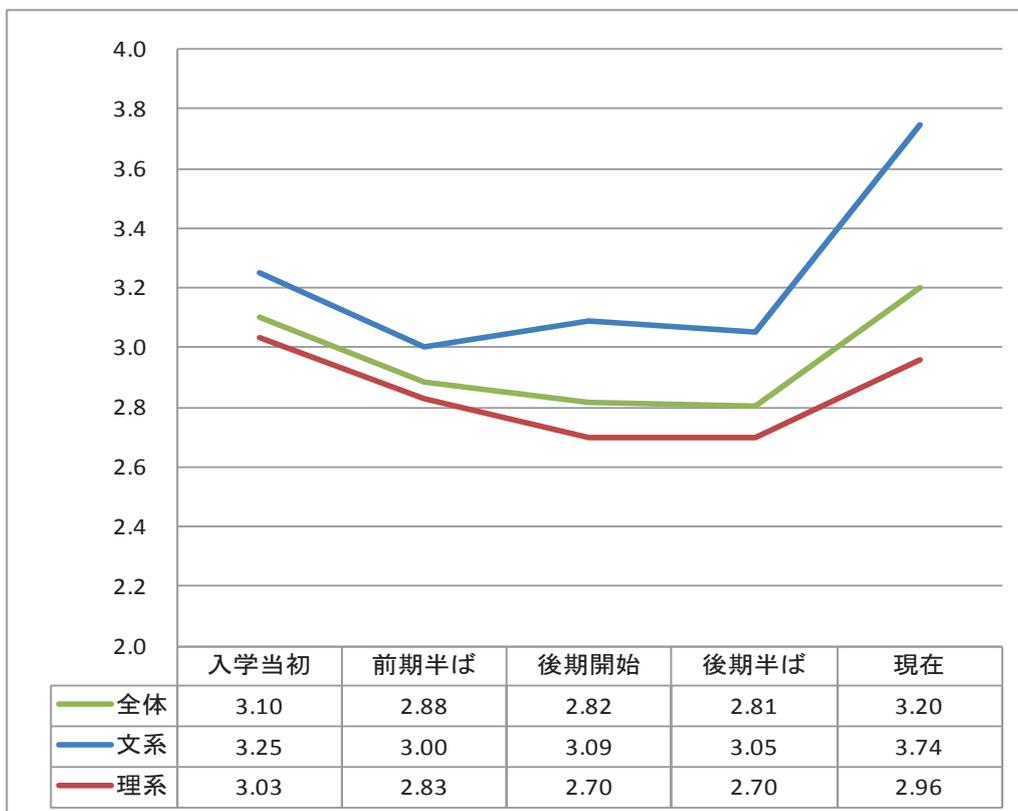
1. 1 学習意欲の変化



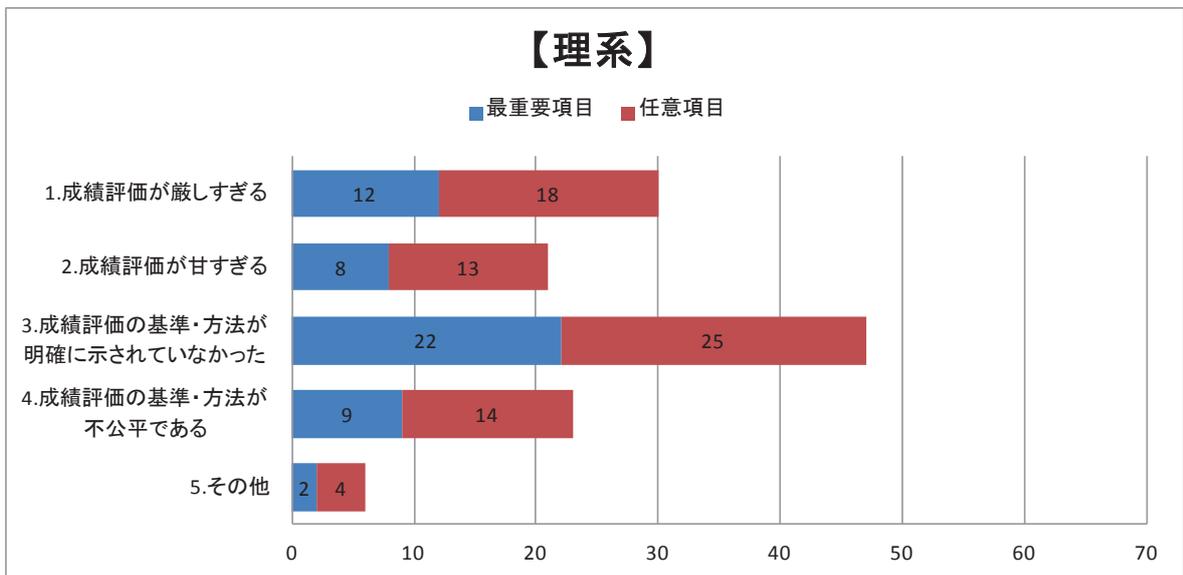
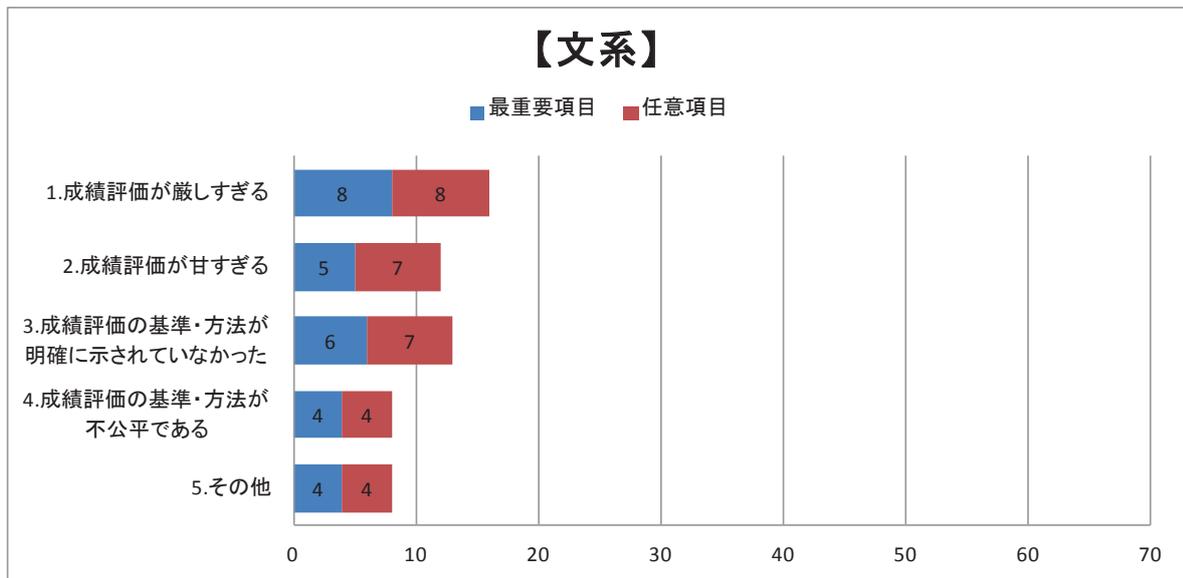
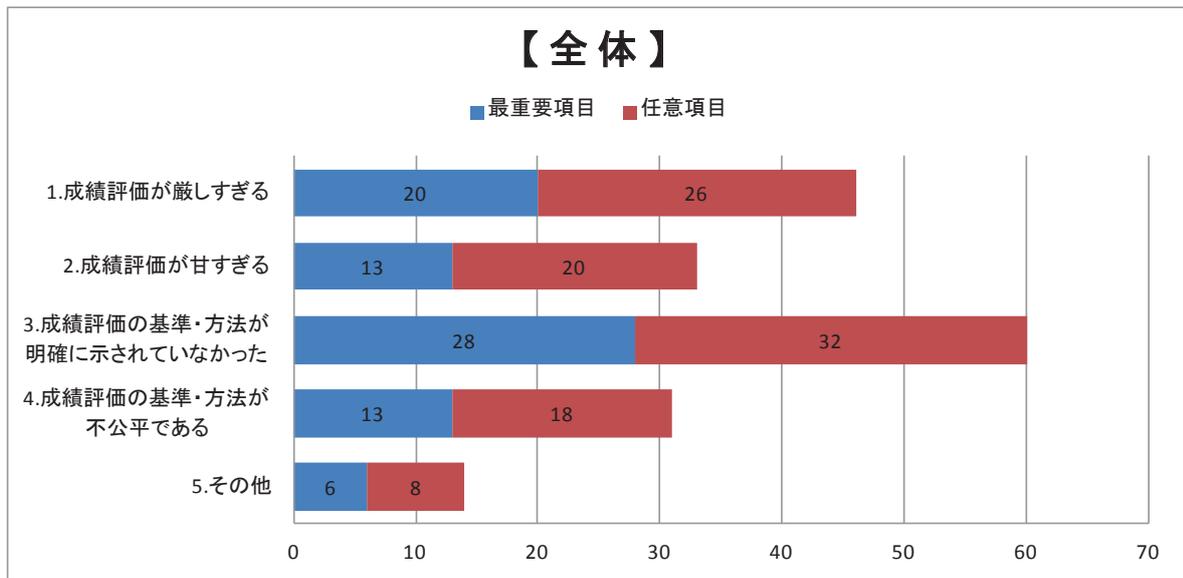
1. 2 出席コマ数の変化



1. 3 授業外学習時間の変化



2. 2 成績評価に納得できない理由



2. 3 「納得できない理由：その他」の記述内容

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。

なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

- 自分の努力が甘かった【教・男】
- 自己の甘え【法・男】
- 休学していたため【経・男】
- 自分が悪い【経・男】
- 採点がおかしい【理・男】
- 点数が分からない。【工・男】
- 教職科目が卒業単位に含まれないものが多い【工・男】
- あまり専門的にならないでほしい【工・男】
- 教授に媚びれば勝てる【工・男】

3 「満足した科目」「不満だった科目」

3. 1 「満足した科目」とその理由

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A. あなたがとくに満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：（自由記述）

登録群：（A・B・C・Dから選択）

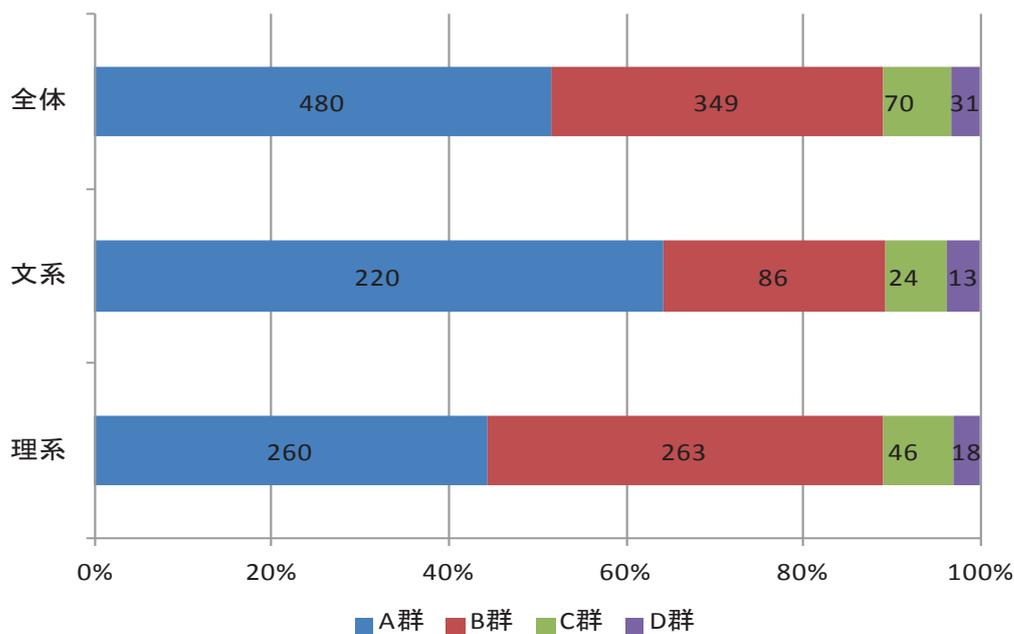
あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他（自由記述）

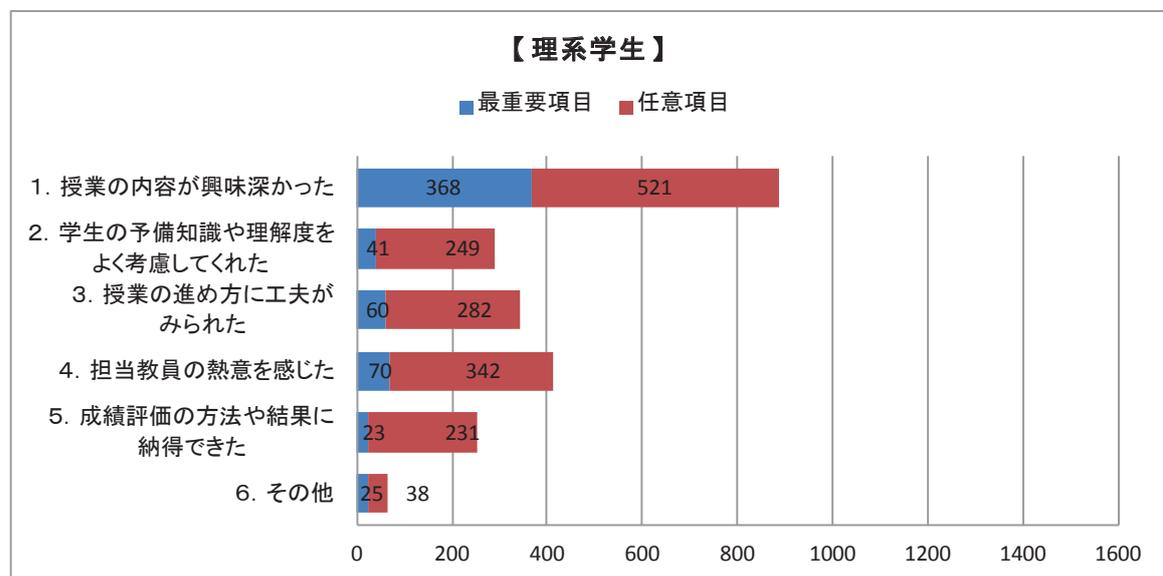
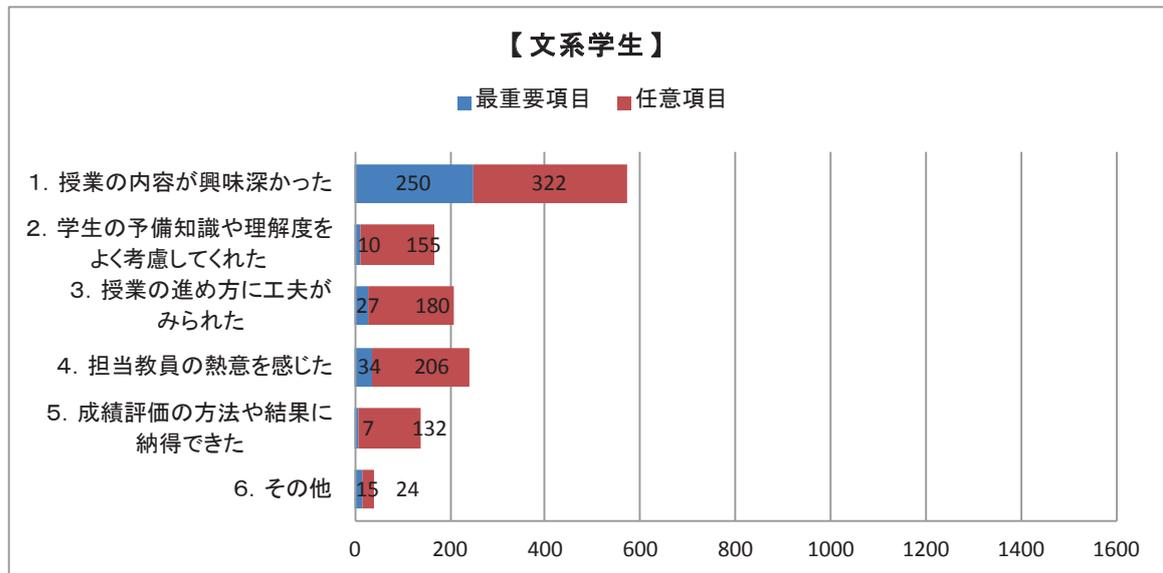
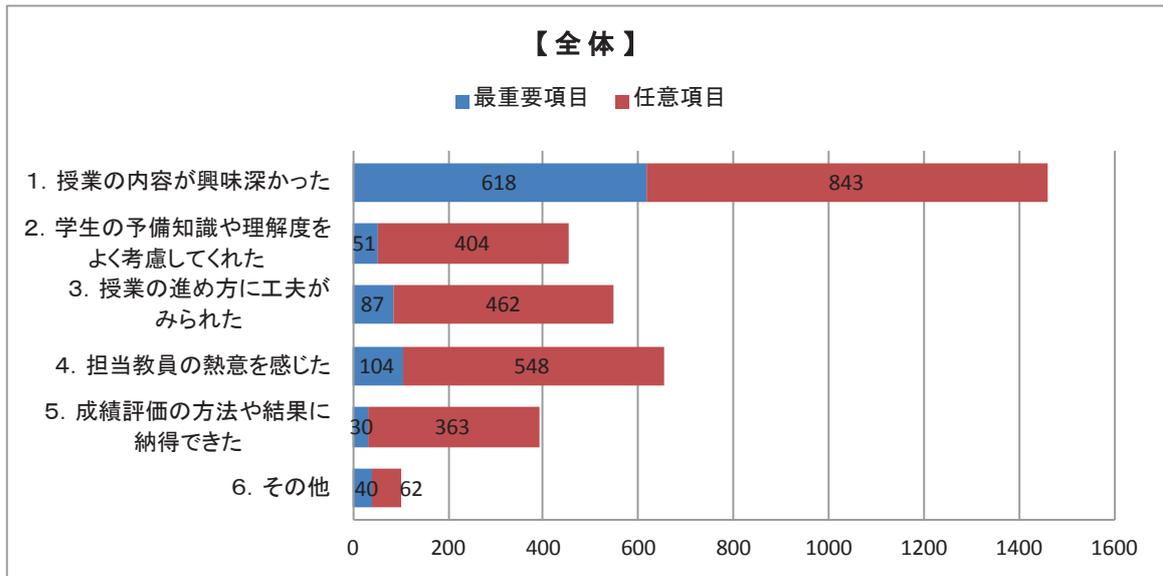
上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）

（以下、科目2、3も同様）

3. 1. 1 科目群別の集計



3. 1. 2 「満足した理由」の分析



3. 1. 3 「満足した理由：その他」の記述内容

「満足した理由」の「6 その他」については、その内容を自由記述方式で尋ねている。以下、A群、B群、C群、およびD群の別に、記述内容を掲載する。

なお、末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

■ A群科目

- 話し合いを通して、さまざまな知識・考え方を学べた【総人・女】
- 積極的に学ぶ留学生の姿勢に感銘を受けた。講師がネイティブ。【文・男】
- 課題が興味深かった【文・女】
- (今年からこの授業がなくなったようで本当に残念)【教・男】
- テストが教科書持込みOKで簡単に単位を取ることができた。【教・男】
- 先生と講義内容について、自由に話したり補足を聞いたり、交流の機会があった。【法・男】
- 学生には遅刻を許さない、教員は連絡なしに休講しないなど、マナーを守った講義がされた【法・男】
- 現場の人の話を直接聞くことができたから。【法・男】
- 出された課題が非常に興味深かった【法・男】
- 留学生とも交流を図ることができ、西洋風のプレゼンテーション形式の課題など、これまでにない経験ができた。【法・男】
- とにかく情報量が豊富で、極めて論理的・体系的であった【法・女】
- 現地研修で非常に有意義な経験ができた【法・女】
- やる気さえあればどれぐらいでもコミットできるので、その制度が良かった【経・男】
- 出席しなくても単位をくれた【理・男】
- 先生の学識に感銘を受けた【理・女】
- 非常に真剣に取り組める内容だった【理・女】
- 先生方との距離が近く、様々な質問ができた。【医・男】
- 受講し終えたときに一番印象に残った。【医・女】
- 教員自体も良かったが、講義を受けていた学生の高度な発言が凄いと思った【工・男】
- 学生を尊重していただいたのが好印象でした。【工・男】
- 社会で活躍しておられる様々な人の話を聞くことができ、勉強になった【工・男】
- 話も面白かった【農・男】
- 非常に楽しい授業であった、また他の※※先生の講義もためになるものたちばかりであった。【農・男】
- オムニバス形式にもかかわらず、全教員においてパワーポイントの使用とハンドアウトの配布が徹底されていたため、効率的な授業になっていた。知名度の高い教員ばかりが集められていた。【農・男】

- 様々な方の講演を聞くことができた【農・男】
- 授業内容が、実践的だった。【農・女】
- 少人数のゼミ形式で、詳しく学ぶことができたし、イベントもたくさんあり楽しかった。【農・女】

■B群科目

- 自然の持つ「柔軟なスケールフリー構造」と、現在の松本総長主導の改革の目指す「脆弱な中央集権構造」の対比がとても興味深かった。【総人・男】
- 実験レポート作成を通じて成長できた【法・女】
- 微積分の概念的な理解に力点を置いた説明が丁寧で分かりやすかった【法・女】
- あらためて、「あることについて考える」ということの楽しさを伝えてもらえた。【法・男】
- 今後の学生生活に必要な基礎知識が習得できた【法・男】
- ポケット・ゼミという形で、阿蘇山を見に行くという普段できない経験ができたからです。【経・女】
- 実生活に知識が活かせるような、わかりやすい授業だった。【経・男】
- 突き詰めようとすればいくらでも出来る制度が良かった【経・男】
- 発展的な知識を添えて授業してくれた【理・男】
- 鍛えられた【理・男】
- 将来研究に必要な重要項目について非常に分かりやすく解説してくれたため自力で勉強をする時の助けとなった。【理・男】
- 毎回の復習プリントが理解の助けになった【理・男】
- 多くの分野を網羅していて楽しめた。【理・男】
- 実験が好きだから。【医・男】
- 毎時薬草が食べられた。【薬・男】
- 達成感があった【工・女】
- 来年度に役に立つ知識を学ぶことができた。【工・男】
- 実験そのものが楽しかったし、ためになった。【工・男】
- 授業は非常に分かりやすく、課題も取り組む価値のあるものであった。【工・男】
- さまざまな実験ができてとても勉強になった。【農・女】
- 上回生になったら役に立つと思う内容だった【農・女】
- 実験の手順を実際に経験できて良かった【農・女】
- すぐれた実験設備が使用できた。【農・男】
- 情報収集や発表の技術が身についた【農・男】
- 楽しく取り組めた【農・男】
- 授業が非常にわかりやすかったです。【農・男】
- アンケートを設け、学生とのコミュニケーションを図ろうとしていた【農・男】

■ C群科目

- 語学の学習にとどまらず、大学教育やドイツ文化について色々と教われた。【総人・男】
- 京都大学の教養教育改革の問題点について、ドイツにおける教養教育の在り方と対比しながら的確に批判していた。【総人・男】
- 海外での研修で非常に有意義な経験ができた【法・女】
- 教員の人柄が良く、授業が明るく楽しかった。【農・女】

■ D群科目

- 授業自体楽しく、程よい運動ができた。【工・男】

3. 2 「不満だった科目」とその理由

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(A・B・C・Dから選択)

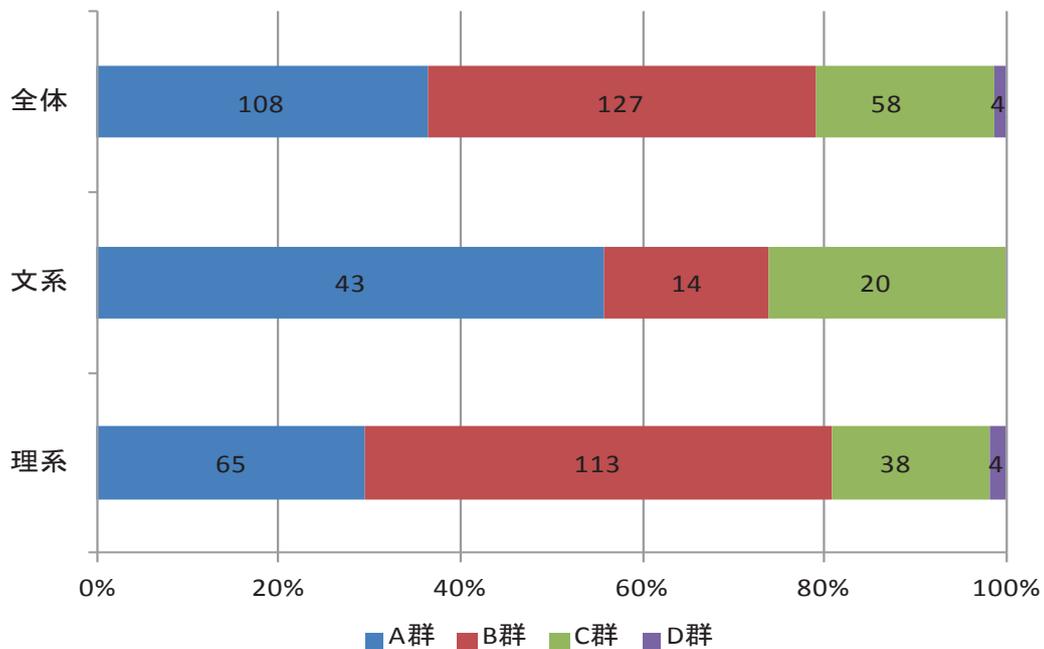
あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他（自由記述）

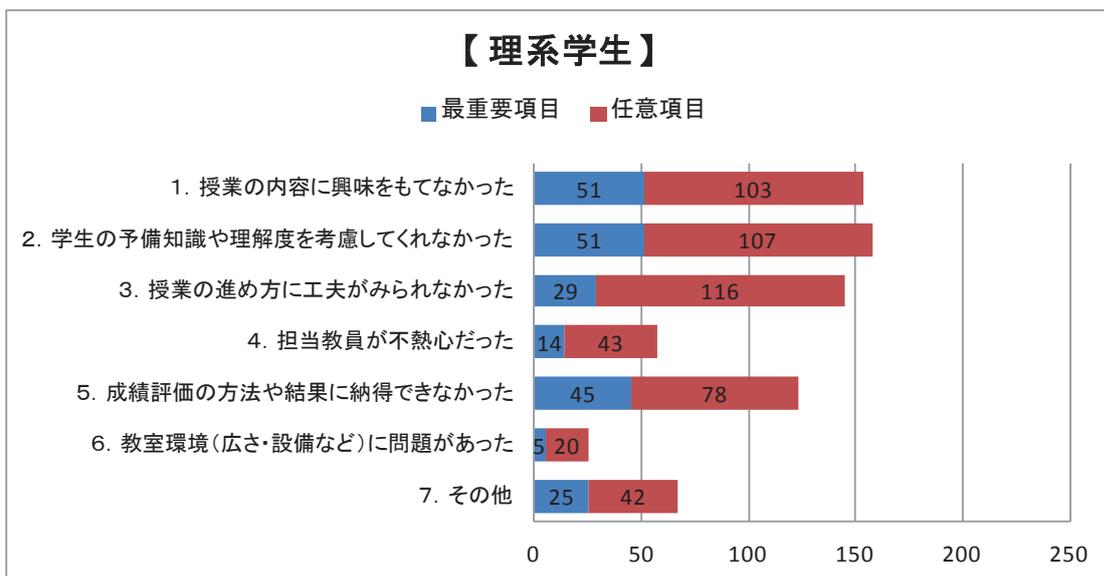
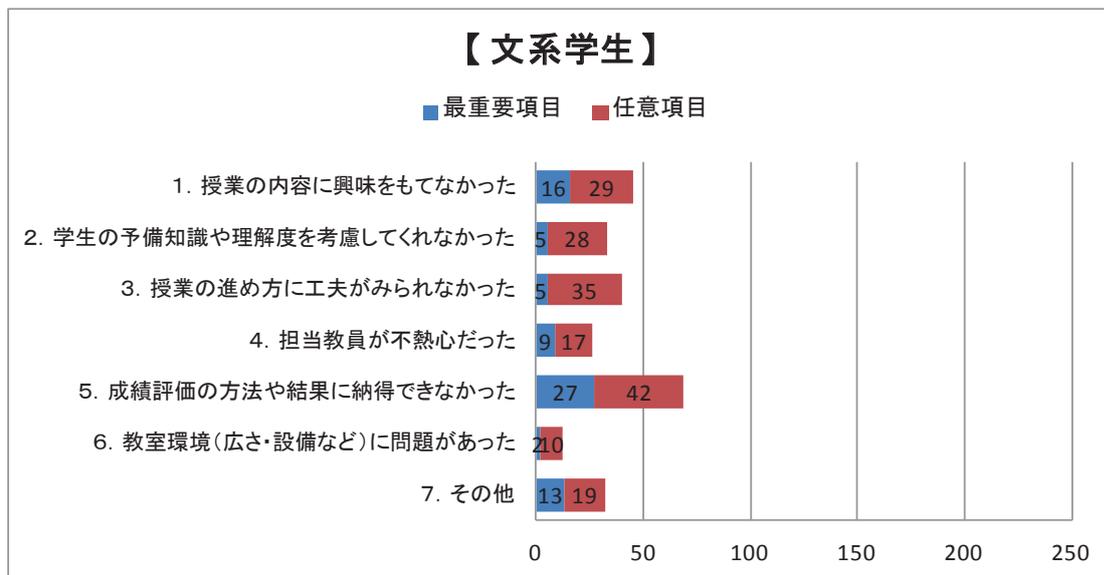
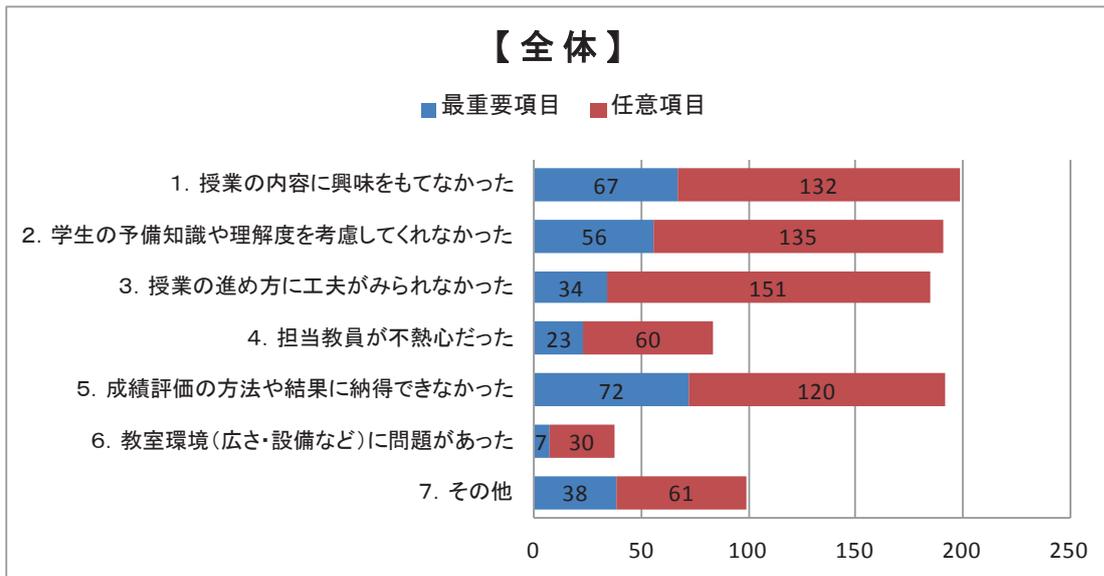
上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）

(以下、科目2、3も同様)

3. 2. 1 科目群別の集計



3. 2. 2 「不満だった理由」の分析



3. 2. 3 「不満だった理由：その他」の記述内容

「不満だった理由」の「7 その他」についても、その内容を自由記述方式で尋ねている。以下、A群、B群、C群およびD群の別に、全記述内容を掲載する。

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

■ A群科目

- 黒板汚い【総人・男】
- 先生英語下手【総人・男】
- 前期を同じように教科書持込み OK だったため前期と同様にあまり勉強せずに期末テストに臨んだところ、該当箇所を簡単に見つけられない難易度であり、単位を取得することができなかった。【教・男】
- 毎回の授業でハウリングがひどく聞きづらかった。【法・男】
- 中間レポートで 10000 字の課題があったが、ほかの全学共通科目の課題に比べ、あまりに多いと思う。この授業だけで 20 枚以上のレポートを提出しているが、ほかの評価方法はないのか。【法・男】
- 複数の教員によるリレー講義のためか、体系性を欠き、内容が中途半端だった【法・女】
- 声が聞こえない【経・男】
- 課題などの通知に一切 KULASIS を用いず、確認が難しかった。【経・男】
- シラバスに予備知識は必要ないと書いてあったのに前提知識が必要だった【理・男】
- 実践的な話をしているのに、臨床において役に立つとあまり思えなかった。【医・男】
- 担当教員の思想に受け入れがたいものを感じた。【医・男】
- レポートの課題内容が法学部でない人には抽象的過ぎであった。(方法、結果は納得いったが)【工・男】
- 成績評価の方法に途中変更があったにもかかわらず、KULASIS 等での告知がなかった。【工・男】
- 講義がわかりにくい【工・男】
- 成績の確認がすぐにできなかった【工・男】
- 教室が広すぎたせいで教員の声が聞こえず板書も見えなかった【工・女】
- 毎回講義には遅れてくる、板書の文字は見づらいなどの問題があった【農・男】
- いちいち怒鳴り散らすため、精神衛生に害を及ぼした【農・男】

■ B群科目

- 授業内容には地学と関係ないものが多く含まれており、想像していた授業よりも教授のパフォーマンス的な要素が強かった。【文・男】
- 先生の本を書いた本を 4 冊も買わされた。金儲け？【法・男】

- 化学やれよ【総人・男】
- 完成まで12時間はかかる膨大な実験レポートが毎週課されており、机に向かう姿勢がついたことは大変ためになった。しかし、この科目がたった2単位であることは毎週の授業外学習の時間を考えると甚だ疑問である。単位の実質化を行うのであれば、実験だからといって安直に2単位に設定するのではなく、最低でも4単位に設定するなど、単位修得のために必要な学生の努力に対する正当な評価をするよう是正を要求したい。【総人・男】
- 工学部2年生と思わしき学生が大勢この科目を取っていたが、私語が大変うるさく、教員の話が聞き取れないことが多々あった。【総人・男】
- 内容が難しい【経・男】
- 演習と授業の進度が釣り合っていなかった【理・男】
- 理解できなかった。【理・男】
- まるで内容がわからない【理・男】
- 予備知識の乏しいまま、ただ言われたことをこなすだけの実習が多かったように思います。【理・男】
- シラバスの半分くらいのことしかやらなかった【理・男】
- 自己責任であるのを不満として扱っていいのだろうか・・・なんとなくという事で【理・男】
- 進行スピードが速すぎた【理・男】
- 難しかった【工・女】
- 説明が分かりにくかった【工・男】
- 教科書通りの内容で、自分でも簡単に学べるところをわざわざ講義で丁寧に解説してくれた挙句、毎回の課題で出席を確認するという「有機化学が全くわからない人」向けの講義形態をとっていた。もうすこし、こぼれ話や産業界での実例や発展的な話をして欲しかった。講義に行く必要を感じ得なかった。【工・男】
- 異常にストレスがたまってしまった【工・男】
- 右も左も分からない入学当初に受けるにはレポートの量が多い。【工・男】
- 力学の基本的なことよりかは、数学的なことを中心に講義が展開されたため後期の力学統論で苦労した。数学的なことは確かに必要ではあるがもっと本質的なことがあるように思う。【工・男】
- とにかく分からなかった。小難しい話を小難しくしてくれたおかげで理解が及ぶべくも無かった。試験も難しい【工・男】
- 字が書けない人は問題外であり、故に授業の内容に対して評価することは不可能である。同時に学びの機会を奪われたことに怒りを感じており大学側に非があることは否めない。出席する気がでない。テストは力学の範囲を逸脱しており、全体的に※※氏の自己満足のレベルでしかない。※※氏に媚びた者が単位を手にしてきたことから※※氏の選民思想がうかがえる。【工・男】

- 黒板の下の方が見えない【工・男】
- 担当教員の声が小さく聞き取れず、黒板の字も非常に汚かった。【工・男】
- 簡単すぎる教科書を用いて難しい講義をするという的外れな方法で学生の理解度を全く無視しており、その上毎回の課題で出席を暗に強要し、学生の自主勉強の機会を奪っている。あと、テストが難しすぎる【工・男】
- 呂律が回っておらず、プリントもないためわかりずらかった。【工・男】
- 授業が分かりにくい。あとでノートを見返しても理解できるノートにならないような板書だった。【工・男】
- 必修科目であるにもかかわらずプレゼンでの授業で板書が出来なかった。板書にしてほしい。【工・男】
- 授業がいいかげんだった【工・男】
- 成績の確認がすぐにできなかった【工・男】
- オムニバス形式なので各回の内容に重複があった。【農・男】
- 授業後に質問をしても不愉快そうな顔をして、まともに答えなかった【農・男】
- 板書が下手だと感じた。【農・男】

■C群科目

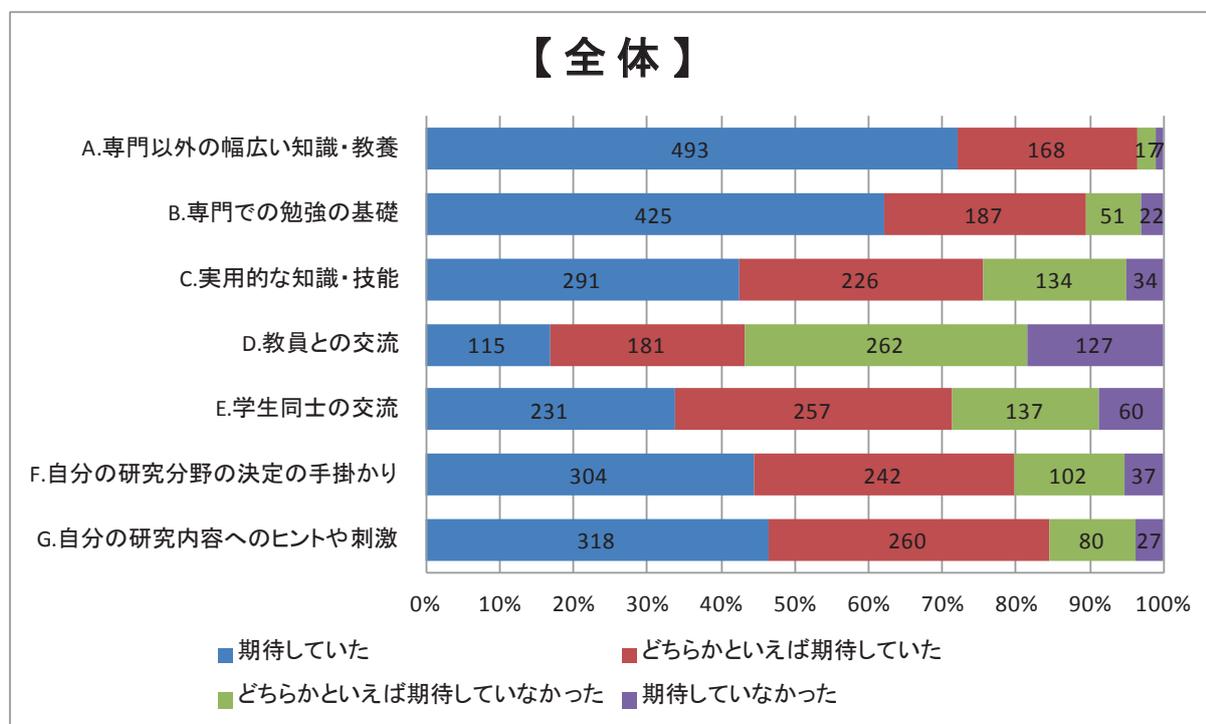
- 教師の説明が分かりにくかった。【総人・男】
- 後期は補講にも参加し、前期よりもテストについて学習時間を増やしたが、評価が変わらなかった。何を基準に評価されているのかよくわからない。【法・男】
- 使用テキストが難しく、基礎を理解できなかったため、後期からはやむを得ず市販のテキストで学習した。雑談も多かった。【法・男】
- 指定された教科書がまるで役に立たなかった【法・男】
- 授業で行うことの告知が不十分かつ、その行為が英語教育に繋がるとは思えない【経・男】
- 単調だし周りの朗読のイントネーションがはらたつのも自分もスラスラ頭に入ってこないし・・・【理・男】
- 生徒を当惑させる行動（一人で笑っていたかと思うと急に怒鳴るなど）が多い【医・男】
- 教員の発言が挑発的【工・男】
- 遅刻に対するペナルティがないこと【工・男】
- ただ教科書をたんとんと1人ずつ訳していくだけで、まるで高校の授業のようだった。教科書も全く興味を持たないものだった。【工・男】
- 成績評価の方法が不明瞭だった。【工・男】

4 全学共通科目への期待

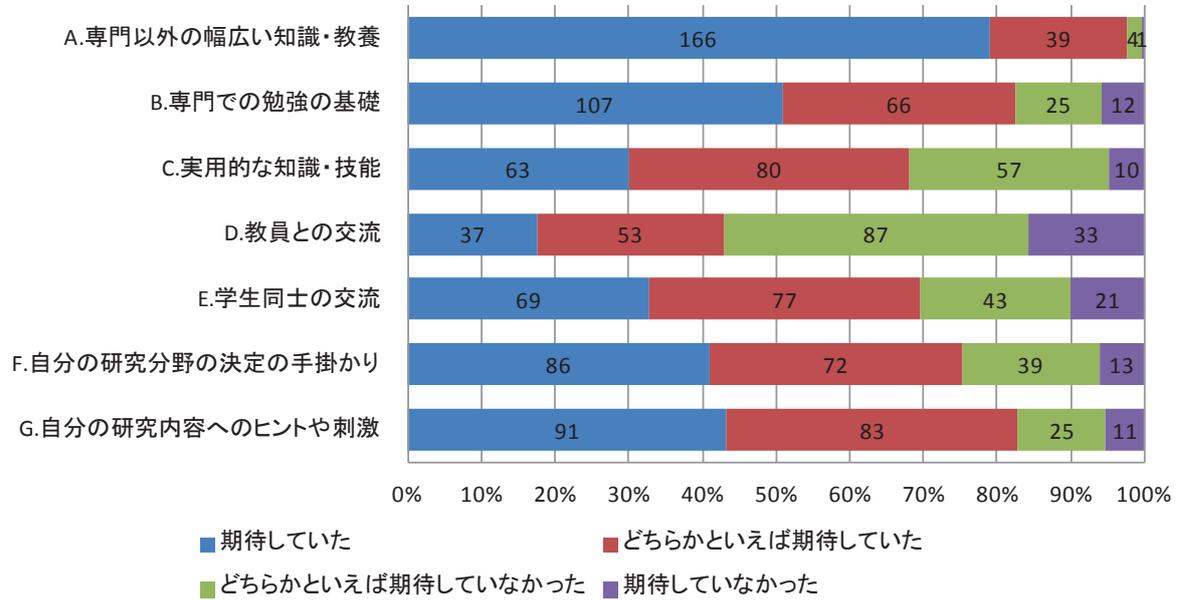
問4 あなたは入学当初、京都大学の全学共通科目に対して、次の各項目をそれぞれの程度期待していましたか。

	どちらかといえば		どちらかといえば	
	期待していた	期待していた	期待していなかった	期待していなかった
A. 専門以外の幅広い知識・教養	1	2	3	4
B. 専門での勉強の基礎	1	2	3	4
C. 実用的な知識・技能	1	2	3	4
D. 教員との交流	1	2	3	4
E. 学生同士の交流	1	2	3	4
F. 自分の研究分野の決定の手掛かり	1	2	3	4
G. 自分の研究内容へのヒントや刺激	1	2	3	4

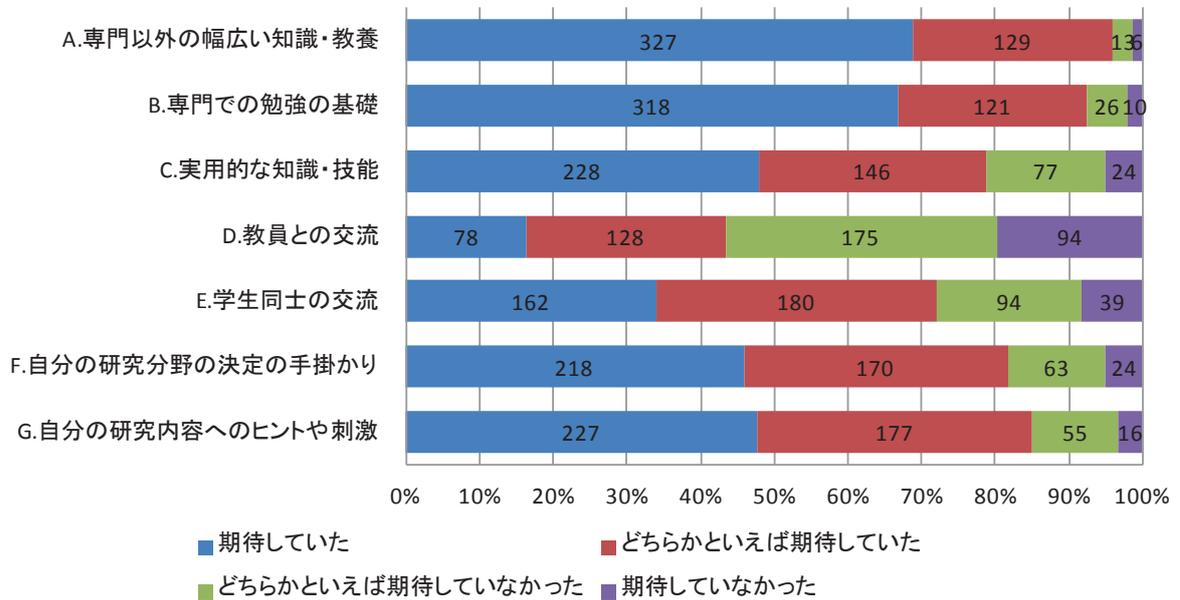
4. 1 全学共通科目に期待する内容



【文系学生】



【理系学生】



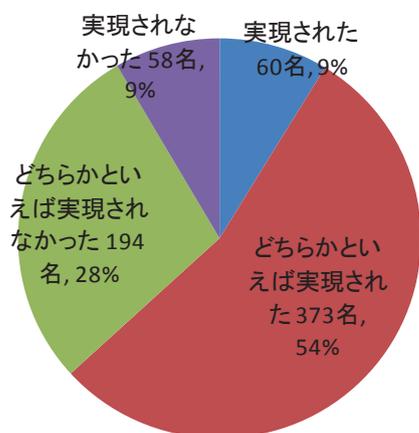
5 期待は実現されたか

問5 全体として、あなたが全学共通科目に対して抱いていた期待は実現されましたか。

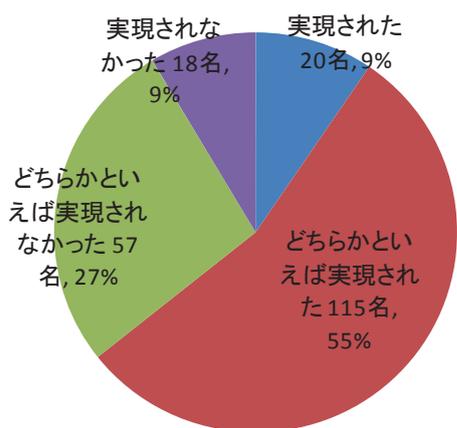
- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 実現された | 2 どちらかといえば実現された |
| 3 どちらかといえば実現されなかった | 4 実現されなかった |

5. 1 全学共通科目への期待は実現されたか

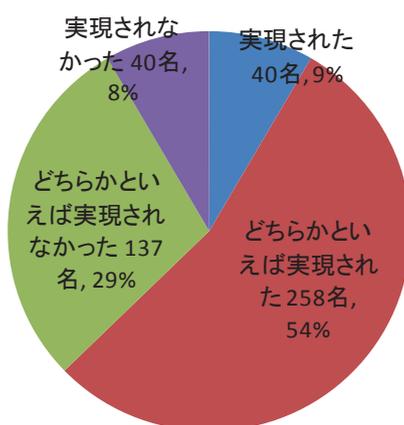
【全体】



【文系学生】



【理系学生】



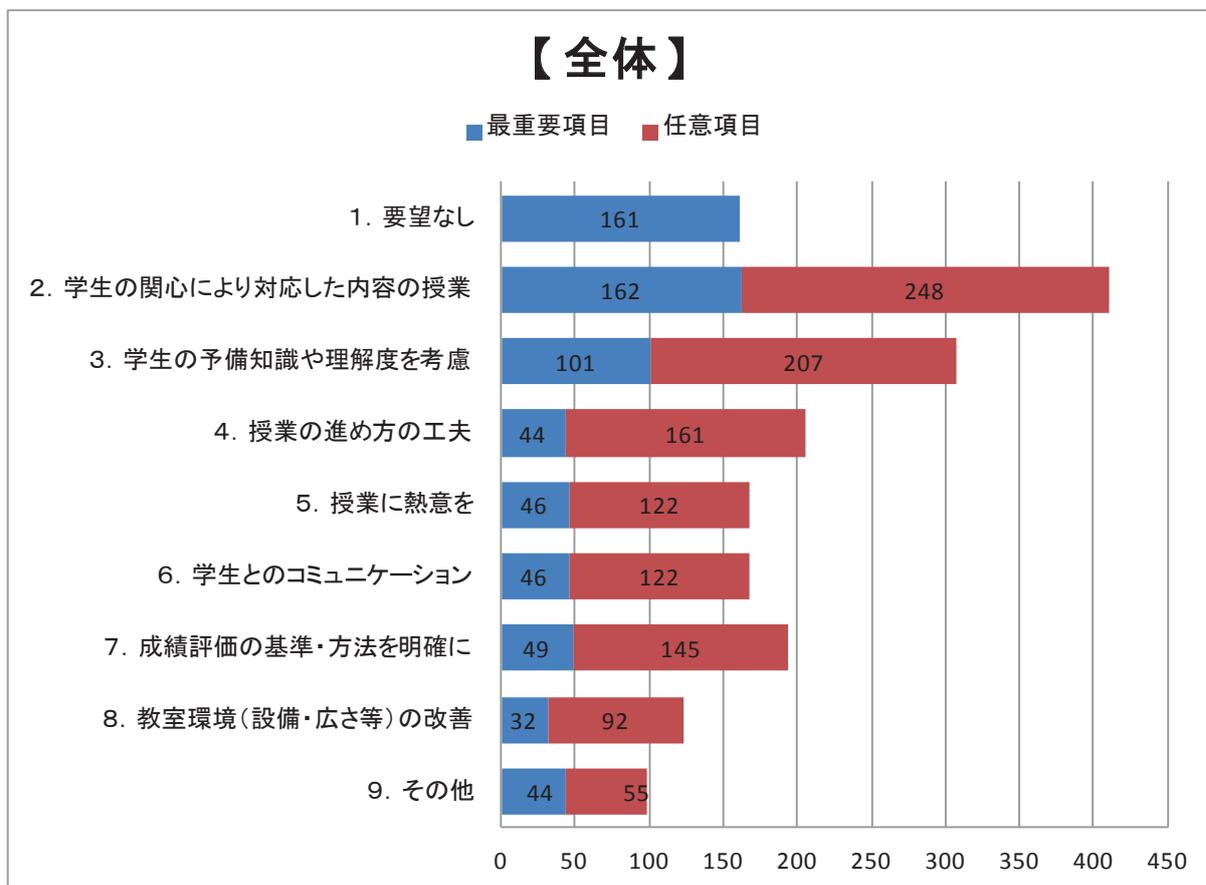
6 今後の全学共通科目への要望

問6 今後の全学共通科目に対して、どのような改善を要望しますか。あてはまるすべてのものすべてに□チェックをつけ、最も重要なもの1つを選択してください。

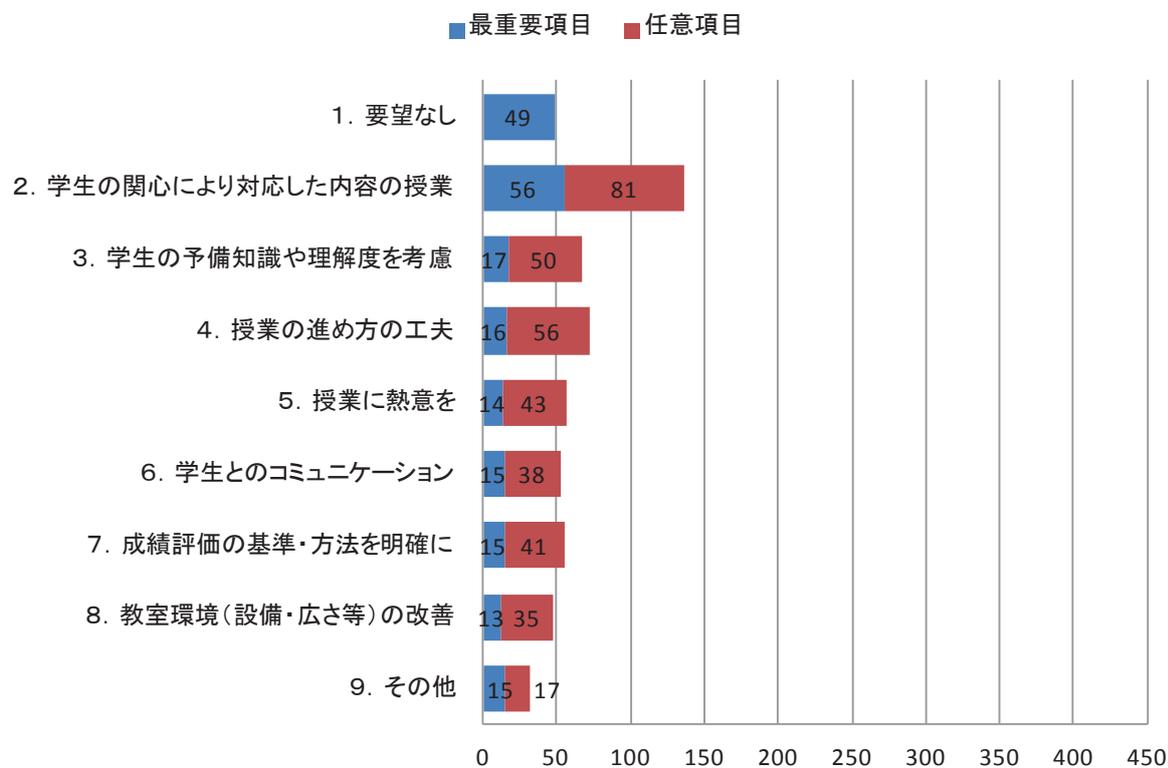
- 1 特に要望はない
- 2 学生の関心により対応した内容の授業をしてほしい
- 3 学生の予備知識や理解度をもっと考慮してほしい
- 4 授業の進め方をもっと工夫してほしい
- 5 授業にもっと熱意をもってほしい
- 6 学生とのコミュニケーションをもっととってほしい
- 7 成績評価の基準・方法をもっと明確にほしい
- 8 教室環境（設備・広さなど）を改善してほしい
- 9 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～9から選択）

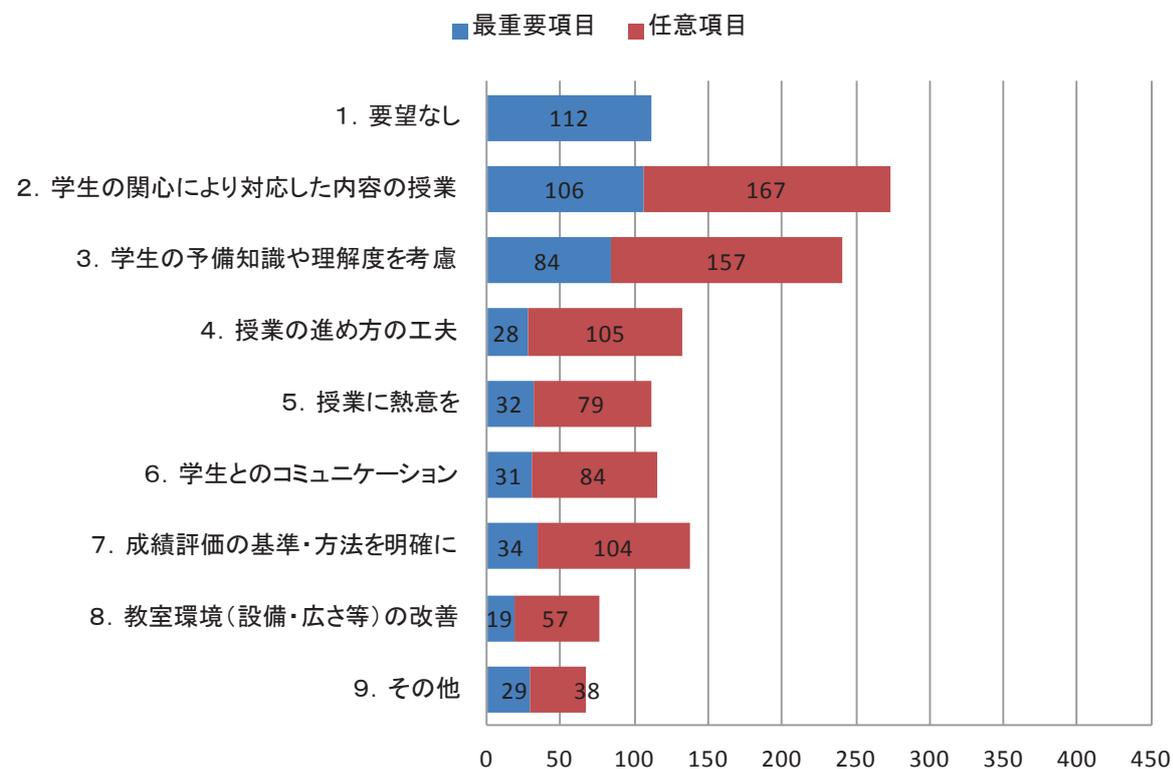
6. 1 項目別集計



【文系】



【理系】



6. 2 「改善の要望：その他」の記述内容

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

- 授業に出席せずして楽勝科目の単位を取るような堕落した学生を減らすために、テストの受験資格として「〇割以上の出席」を設けて欲しい。(出席点評価は代筆・代返などの温床になるので語学を除き無い方がよい。あくまで受験資格としてのみの出席評価が望ましい。)
【総人・男】
- 3などはあまり考慮すべきでないように思う【総人・男】
- なんで科目名変えたんですか。なんで群を刷新したんですか。必要性がわからないし何の説明もされないので、ただただ怒りを覚えるだけです。【総人・男】
- 半数の授業を英語で行うとかいうのは馬鹿らしいのでやめた方がいいと思います【文・男】
- 多少背伸びするようないようでも教えてほしい【文・男】
- ロシア語の全学共通科目が激減したのはどうしてですか。マイナー言語の選択肢が少なすぎます。【文・女】
- 群毎の最低限必要単位【教・男】
- シラバスの表記を詳しくしてほしい【教・女】
- 現代社会適応などと冠するなら、共通語や敬語の使い方、あるいは京都市付近の地勢を学び、災害時に適応するための知識や、インフラが途絶えた時に食用となりうる植物の知識など、生きていくのに役立つ講義を増やしてもよいと思う。【法・男】
- シラバスで、成績評価基準を詳細に表記してほしい。あと成績表について、優良可と点数がごちゃ混ぜになって非常に見にくい。【法・男】
- ポケゼミは全員とれるようにすべき。【法・男】
- 「とりあえず登録して、後から出る講義を選ぶ」という人が相当数存在するので、履修制限や抽選を廃止してもらいたい。【法・男】
- 海外教員をもっと増やして欲しい【法・女】
- 履修人数制限は必要ない【経・男】
- 簡単に単位を取れるようにして、自分の好きな事をやっていけるような制度にしてほしい【経・男】
- いきなり分類を変えるのはやめてほしい【経・男】
- 学生の要望や社会の風潮に安易に流されず、教授の自由度を損なわないようにしてほしい【経・男】
- 90分は長い 話聴くだけで 教室がだだ広いのも勘弁 かといって少人数でインタラクティブな講義を取る訳でもなく・・・【理・男】
- 般教くらいはそこまで成績評価を厳しくしなくてもいいのでは？と特にA群の講義で感じました【理・男】
- 毎年制度がコロコロ変わるのは止めてほしい。【理・男】

- 当方、理学部生なのですが、全学共通科目の中で理学部が卒業単位として認定しているB群の講義が少なく(特に生物学系)、興味があるものの履修しても意味がないためにモチベーションが上がらないことがありました。「2 学生の関心により対応した内容の授業をしてほしい」に近いですが。しかし、これは全学共通教育というより理学部側の問題かもしれませんね。【理・男】
- 昔の京大のような自由の学風をもう一度取り戻して欲しい。たとえば全学共通科目であっても。【理・男】
- より、教えることへの自由度を持たせてもいいのではないか【理・男】
- 教員の専門分野に接することができる講義を増やしてほしい【理・男】
- 同じ時間にとりたい授業が複数あったのもっと多くの時間に同じ授業を開いてほしい【理・男】
- 履修したい科目がクラス指定と被っていたために履修できなかった。【理・女】
- カンニング防止の徹底【医・男】
- 出席などの成績評価などを導入して、刺激してもやる気を出さない学生をどうにかしようとするのはすでに学習意欲がある学生にとっても授業が面白くなるし、興味を持っていない学生は尚更形だけの授業参加になるだけなので、学生の意識を変えようとするなら刺激してやる気を出す層の学生までをカバーするようなやり方をすべきだと思う。【医・男】
- 上手な授業をしてほしい。面白いことを言っているでも話し方や授業の進め方が悪いと頭に入っていない。【医・女】
- 勉強ではなく学習をしたい生徒が、遊びに来ている生徒に邪魔されないような授業システムを考えてほしい。【医・女】
- もっと面白くして欲しい。【薬・男】
- 名称を戻して欲しい【工・男】
- 工学部建築学科のA群認定単位数を現行の 16 単位から、16~24 単位に改善しましょう。【工・男】
- ゼミナールのような少人数制で学生同士議論できる講義がもう少し欲しい【工・男】
- クラス指定をできるだけ減らしてより柔軟に時間割を組めるようにしてほしい【工・男】
- より幅広い内容の充実【工・男】
- 他人にうんちくとして幅広く語れる知識をもっと伝えてほしい。【工・男】
- 必修科目は毎回課題を教員に直接出しに行くのではなく、共通科目らしく BOX に提出にして欲しい。【工・男】
- 自分の興味を取った科目がクラス指定科目や専門科目で完全につぶされている状況を何とかして欲しい。これではほとんど時間割が決められているようなもの。【工・男】
- 国際高等教育院など、総長の独裁でものを決めないでください。【工・男】
- クラス指定科目だけで 15 コマを超えるのは勘弁してほしい【工・男】
- これまでの ABCD 群の分類に戻してほしい【工・男】

- 各々の教員が自身の研究内容などについて自由に講義しているような科目を増やしてほしい。【工・男】
- B群のクラス指定をなくして、好きな時間にとれるようにしてほしい【工・男】
- クラス指定に縛られることで興味があるA群科目が取れないということがしばしばあった。クラス指定の縛りを緩くすべきではないか。【工・男】
- あまり専門的にならないでほしい。【工・男】
- 生徒と関わっていい教授とそうでない教授がいることの認識をもつべきである。【工・男】
- もっと単位をばらまこう【工・男】
- 学部指定を無くして、もっと自由に講義を選択させてほしい。【工・男】
- 資源の節約のためにシラバスを本にするのをやめてほしい(配布時期も遅いため役に立ちにくい)。授業計画が乱れるので、無作為抽選による履修制限を避けてほしい。科目数を減らさないでほしい。履修できる科目数に上限を設けている学部があるが、それは学習意欲の低下につながるので、単位を取らせにくくするのであればもう少し別の方法を考案してほしい(たとえ自分が今とろうとしている科目が卒業に必要な科目であったとしても成績が出るのなら履修してみようと思うその学習意欲が今はあるが、履修できる科目の数に上限があるとその意欲が失われてしまう。履修できなかった内容を独学するなどというのは非効率だと思う。)。【農・男】
- 高校の授業のように基礎から学ばせてほしい【農・男】
- もっと科目選択の幅を広げ、興味のあるものだけ出来るようにしてほしい【農・男】
- 抽選をやめてほしい。講義を受けたくても受けられないものがあつた。【農・男】
- 人数制限をしないでほしい【農・男】
- カリキュラムの変更などがある場合早めに学生にも情報がほしい【農・女】

7 自由記述

問7 あなたは、1年間全学共通科目を受講して、どんなことを感じ、どんなことを考えましたか。自由にお書きください（たとえば、勉強における悩みや不満、その解決策、あるいは楽しさ・感動など、何でも結構です）。

学部別に、記述内容を掲載する。◎は男子学生、○は女子学生の回答である。

なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

7. 1 総合人間学部

○自分の興味のある分野の話をつづるだろうか、と、すべての授業に出ていたが、あまり自分の興味のある分野の話はなかった。しかし、ほとんどの授業で自分の興味のある分野外のさまざまな話を聞いたので、良かった。

○※※※※※を前後期通じて受講し、リレー講義で様々な先生方のお話が聞けてとてもためになりました。興味のある※※※※※というテーマについての授業が全学共通科目に少なかったため、この授業を1番楽しみにしていました。金5ということもあり、後期はいつも7人ほどしか出席していませんでしたが、少人数で授業に集中できる環境ができておりよかったです。

◎第一線で活躍する研究者に(特に理系の)学問の基礎を教えてもらう際、研究者でしか語れないようなこと(最先端の研究の話題、研究するとはどういうことか、近年の理系分野別就職事情、など)をたくさん聴けて今後の良い道標になった。従って、基礎科目を教えるだけの講師を外部から呼ぶのは避けるべきであると思う。単に教科書をなぞる授業ではどの教員でも画一的な授業はできるであろうが、授業に深みや面白さが全く無くなってしまう。

また、高校と大学では学びの質や学問に対する考え方が全く違うため、戸惑った新生生はとても多いだろう。もちろん私もそのうち一人であるが、その混乱から抜け出せたのはやはり「どこがどう違うのか」「どう考えを改めていけばよいか」を教員から「母国語」で聴けたことが大きい。これがもし教養教育・基礎教育の授業の半分が英語で行われるものであったらまず解決はなかったであろう。考え方の変化にすらついていけないのに、その前に語学面で大きなハードルがあっては何も学べてはいなかったであろうから。従って外国人講師をむやみに増やしたところで却って新生生を混乱させる要素を増やすだけである。一方で私の受けている英語担当の外国人講師と親しくなり、語学の能力も向上した事実があるので、外国人講師を増やすことが完全に悪い訳ではない。学生の語学力や国際社会を渡り歩く力を伸ばすためにどこに外国人講師を投入すべきかを吟味し、適材適所で割り当てる必要があると考える。

- ◎語学も他の教養科目と同列の扱いを受けるべき。必修化せず他の教養科目によって代替可能であるべき
- ◎説明のうまい人と、そうでない人がいることを肌で感じた。

その上で、専門家として優れていても、その内容を前提知識の持っていない1回生にうまく説明できないようでは、一般向けに研究成果（意義）を伝えるのは難しいと思った。
- ◎しっかり授業時間外も勉強してほしいなら成績評価を厳しくすべきだし、必要と考えていないのなら内容が専門的になりがちであり、中途半端な印象を受ける。特に勉強しなくても優が来る楽勝科目もあれば、勉強しても高評価の得られない科目もあり、学生をどうしたいのかが不明瞭であるとも感じる。
- 自分の進路の手がかりになるような授業を受けられて非常に有益であった。
- ◎授業にパワーポイントを使うのはあまり魅力的でないから、手書きがいい。
- ◎自分は一年全体を通して自分の興味のありそうな科目ばかりを履修しており、その点では少し偏り過ぎていたかもしれないが、その分、その内容に関しては当初の期待通り興味をもてた科目が多かった。また、なんにせよ知ることは楽しい、ということも発見できたと思う。

不満といえば、全学共通科目においては真面目に出席して授業を受けている生徒がいる一方で、そうでない生徒もいたことが挙げられる。自分自身の学習には直接影響しないことかもしれないが、大した理由もなく欠席しておいて、友人に出席をつけてもらったり、あとからノートや過去問で試験を乗り越えようとしたりする学生を見ていて、いささかストレスが溜まった。難しいとは思いますが、成績評価の方法はその点をしっかり加味したものにしたい。
- ◎一年間学んできたことが、たとえ単位が取れていても、実際にどれだけ自分の実になっているのかが不安。
- ◎あまり「じっくり」くるものがなかった。今年は自分の知りたいことを素直に学びたい。
- ◎私が大学の全学共通科目で学び取ったことの一つは、「各論から学ぶこと」でした。高校までは、一つの視点から俯瞰的に勉強する総論先行型・演繹型の勉強をしてきました。しかし、大学生になった今、先生方の具体的な研究に触れさせていただき、生の現実から直接学び取るという発想を身につけることが出来ました。体系化された教科書に基づいた勉学に加えて、世界に直接繋がる経験をさせてもらったのが、全学共通科目での最大の収穫だったと考えています。
- 興味あるものを取り取ることができて面白かったが、単なる講義ではなく、学生がもっと主体的に参加できるものがよい。

7. 2 文学部

- ◎大学において学習の術は何も授業に限ったものではない。にもかかわらず、昨今の京大では授業だけが大学の学習であるかのようにふるまっており、課外学習など自主的に学習を行う機会が損なわれてしまっている。

- ◎出席が評価対象とならない授業では好きなように出席することができた。出席を取るような愚行はやめて欲しい。
- 様々な分野をかじってみれる期間で、いろんな先生の授業を受けることができ、楽しかった。
- ◎教員と学生たちとの交流がほとんどなく、学習の一方性しか感じられないため、学習の応用などはできなくなってしまう
- 英語力がよほど理想的でない教員を無理やりに英語講義を開かせるよりも、英語の堪能な外国人教員の（非常勤）雇用をすべきではないかと。ただし、外国人教員の雇用も厳選すべき
- XX 入門という名前の科目は学習内容が幅広くていいが、一般的すぎてかえって研究意欲がそそられにくい
- 外国語実習と文法の難しさの差が広すぎて、外国語学習として望ましくない。スピーキングにより力を入れてほしい
- ◎いろいろな問題を深く追究することができたので、満足している。
- ◎科目の内容を学ぶだけならどのような方法でもよいだろうが、さまざまな先生の話聞くことによって、その人の思考がどのようなものであるかを知ることができる。
- 自分の専門外の分野に関しては、新たな知識が得られたとともに、総合大学の懐の深さというか、研究領域の多様性を感じることもできた。
- 自分の専門分野に関しては、概論的知識を身につけることができ、今後の学習が楽しみになった。
- ◎文系向けの理科や数学の授業があって楽しかったです
- ◎大学の講師は研究が本業なので、どちらかと言えば先生の一方通行な授業になりがちだったような気がする。もちろん、生徒の理解度を確認して授業を進めてくれる先生もいたが、大抵難しい内容もさっと言って終わりになっている印象があった。
- ◎自分のやっていることが、勉強なのかわかりません。でも、それをしている時は本当に楽しいです。
- ◎自分には知らないことが本当にたくさんあるのだと実感した。
- 選択肢がロシア語の全学共通科目が激減したのはどうしてですか。マイナー言語は選択肢が少なすぎます。
- また、全学共通のことではないのですが、学部専門科目について本当に怒りを感じています。卒業に必須な授業をなぜ同時限かつ同じ曜日に行うのですか。ロシア語の基礎現代文化購読と基礎現代文化学演習Ⅱが火・3に同時に行われています。ロシア語を履修している人は確かに少ないですが、だからと言って必修同士をかぶせることは理解に苦しみます。このままでは異なる言語の基礎現代文化購読を取らざるを得ません。教職の地理歴史科目に必修の地理学まで被っています。本気で学ぼうとしている系必修科目が学べない、ということは大学へ行く意味がありません。京大内の構造改革については特に意見はありませんが、まずはこういう必修の被りを見直すことが必要だと思います。教務に問い合わせてもわからないの一点張りで本当に腹が立ちました。

○専門外の学問に触れられることができ、また他学部の教授と関われたのが良かったと思う。

◎未知の世界が覗けて楽しかった

◎基礎ゼミナールでのグループ学習は様々な人の意見を聞くことが出来たので有意義だった。

○文系にも、理系の専門基礎のような科目がもっとあってもいいと感じます。

(文系の基礎論はちょっと易し過ぎると感じた。)

物理学基礎論Aの※※先生の授業くらいハードルが高く手ごたえのある科目にあえて挑戦してみたかったです。

○むずかしい

○入学前に抱いていたほどの面白さはなかった。

◎教授は必ずしも教師ではないんやなあ。

○わざわざ大学に来ることは、社会人になることを先延ばしにしないで済まない

○私はいわゆる楽勝科目ではなく、自分の興味を引くような授業を中心に履修していたので授業も楽しむことができました。それでもやはり単位のために履修した科目もあり、その授業は最初気が乗りませんでした。しかし、授業が進むにつれて、その科目の面白さに気づくことができ、自分の視野が広がるのを感じました。

◎全体的に満足していただけに、今回の全学共通科目の改悪には反発を覚える。

7. 3 教育学部

◎一般教養なんか所詮こんなものかと思った。やる気のない教授多すぎ。専門科目で頑張ります。

◎「一般教養」といいつつも、各教官が研究している専門的なことを紹介してくれる科目が多かった。講義では、教官がその研究対象を面白いと思っていることが伝わってきて、しかもその内容が独りよがりになっていなかったのも、よく理解できた。とても面白い知識が手に入ったと思っている。

◎B群で理系科目を履修でき、最先端の科学について触れることができたのは大変興味深かったです。エネルギー地質学や宇宙科学などをとっていましたが、興味の湧く内容が多かったです。

成績評価について少し不満があります。特に、出席と授業後の簡単なレポートのみで評価されるような科目について、具体的にどんなことを書けばよいか先生から何も言われなかったため、興味をもったことなど、感想を中心に書いていたら、大変成績評価が低かったのです。あまり出席していない友達に負けていたのが悔しく、きちんと説明してほしいと思いました。最初の週で詳しく説明したのかもしれませんが、一週目は別の科目に出席してる人もいて当然なので、考慮してほしいです。

◎単位とるための勉強

自分のために活かされた授業が少なすぎる

◎自分の興味・関心にあった授業が開講されていたため概ね満足であった

それまでは触れる機会も無かったような様々なスキルを習得できた点も極めてありがたかった

◎結局楽勝単位といえども自分自身にやる気がなければ単位を取ることができないことを痛感し、これからは自分の興味のある科目を積極的に、また適度に履修しようと思った。結局学生自身のやる気の問題であって、決して全学共通科目の講師や授業内容のせいにはしていないと思った。

7. 4 法学部

◎板書をしてくれる授業（パワーポイント含む）としてくれない授業とで、理解力に差があった。学生は予備知識が乏しいところがあるので、教科書のない授業では、できれば板書する量を増やしてほしいと思う。

◎大体の科目は真面目に話を聞いてれば単位が取れるようになっている。ただ、一部話を聞いてても単位が取れる気配がない科目がある。これはおかしいと思う。

◎非常に充実した内容の講義が多く、日々有意義な時間を過ごすことができた。

様々な分野の最前線で活躍する先生方の講義を幅広く履修できることは、京都大学における全学共通科目の醍醐味だと思う。

ただ、(特にリレー講義において)成績評価の基準が教員ごとにばらばらであるような印象を受けた。どの教員に最終レポートを提出したかによって、成績評価にばらつきが出る、といったことがないように、より明確かつ公正な基準を定めていただきたいと思う。

さらに、文系向きと銘打った講義の中に理系の予備知識を要する内容のものが散見されたことも残念だった。

また、新入生ガイダンスの場などでたびたび履修を推奨されたポケットゼミについても疑問を感じた。

ポケットゼミは、理系の内容のものが多く、文系学生にとってはなかなか履修しにくいものであった。(多くの文系学生がわずかな文系向けゼミに集中し、その結果抽選に外れてしまう、という事態が起こっていたように思う。)

(ポケットゼミではない)全学共通科目の中のゼミにも優れた内容のものが多くあるのにもかかわらず、わざわざ(理系向きのものが多い)ポケットゼミを(文系学生にも)推奨する必要性はあまり感じられなかった。

以上の点に関しては、いささか疑問を感じざるを得なかったが、そのほかの点に関しては全く不満の残らない有意義な一年間であった。

◎多くの講義の中から選ぶことができ、非常に楽しむことができたと思う。

◎興味の有無だけでなく、今まであまり体験してこなかったような幅広い分野の講義を受講できたことは、教養を身に着けるうえで大きなプラスになったと思われる。

◎地域地理学の基礎の講義をきっかけに、地図に興味を持つようになり、旅行に多く出かけることになった。これからの自分の人生に大きく影響した講義だと思う。

また、今期は薬用植物学のような実生活に関わりそうな科目を受講したい。

あと、旅先で気が付いたのは、共通語の修得が急務であるということだ。日本語は現在主に留学生専用科目となっているが、ぜひA群としてでもよいので、共通語の修得を目標にした講義を開講してほしい。

◎単位取得が難しく、多くの勉強時間をかけた科目の方が、いわゆる楽勝科目よりも成績が下がってしまう場合があるように、もっと均質な成績評価を行ってほしい。成績評価が甘すぎる。ほとんど出席していない生徒と、真面目に取り組んだ学生とが、同じ評価というのは非常に納得しがたい。

履修制限がきつすぎる。

◎前期は自分の興味に従って履修していましたが、その中の一つの授業によって、自分の将来の専門がかなり強く方向付けられました。そして、後期はその方向性に基づいて履修し、知識に一定の幅を持たせられたように感じました。

このように、自分の現在における人生の見通しに全学共通科目は強い影響を与えたと思います。

○自分の興味・関心に従った科目選びをしたため、授業を非常に有意義なものにできたと思う。

その反面、授業に追われて自学自習の時間をあまり取ることができなかった。これからは授業のみに頼った勉強ではなく、自ら主体的に学んでいくことが必要だと感じた。特に、私は法学部に所属しているため、これからは理系の専門科目を取ることができない。従って今年度からはいかにして理系分野を自学自習していくかが鍵となる。あわせて、法科大学院への進学も視野に入れた法律科目の勉強にもより一層力を入れて取り組んでいきたい。

○あまり興味が持てない分野でも、授業を聞いてみるとおもしろく、興味の幅が広がりました。楽な授業ではなく、おもしろそうな授業や興味を広げたい分野の授業を取ったことがよかったのだと思います。

一方、すすめ方を工夫してほしい授業や、採点の甘い試験などが多数見受けられたので、その点を改善してほしいです。

◎全体的には非常に興味深い授業が多く、楽しかった部分が大きかったのですが、少し不満に思ったことを2点書きます。

①時間割の重複を減らしてほしい

自分を取りたい科目と、クラス指定科目や学部の専門科目が重なっていたのが残念でした。もちろん完全に重複をなくすのは困難だと思いますが、さらなる改善を期待します。

②もうすこし復習ができるようにしてほしい

全員に試験やレポートを返却するのは人数的に困難ですが、例えば希望者のみに返却する、あるいは講評を出す、等して頂けると自分の学習に何が足りなかったかがより明確になると思います。

- ◎教養科目はそれぞれ特色があり、大変におもしろく興味深いと感じました。
- ◎京大の授業ってこんなものかと失望したことが多いです。多くの先生に熱意がありませんでした。受講する生徒も意識が低かったというのが、正直な印象です。ただ、おもしろい授業もいくつかはありました。
- ◎専門外の様々な分野の知識を得ることができて、大変興味深かったです。
- ◎パワーポイントの使用方法については、改善の余地があるのではないかと。ただ読み上げるだけでは、興味が持てないし、わかりにくい。
- ◎各分野のエキスパートである教授陣による授業は非常に興味深く、自らの視野を広げ教養を深めるのに役立ったと思う。
- ただ、全体的に先生方があまり授業に熱意を持っていらっしやらない印象を受けた。自分の研究内容をただ話すのではなくて、学生の理解度なども考慮して授業をしていただけたらさらに良いのではないかと思った。
- ◎手当たりしだいに授業を受けてみたものの、結局単位を取得することに躍起になってしまった気がする。
- ◎入学当初は専門である政治経済の分野にしか興味がなかったが、一般教養の各授業の中には必ず1つは自分にとってキラリと光るものがあり、関心のある分野が広がった。
- ◎他の分野について知ることができとても楽しかった。
- ◎まじめに取り組んでいる人をより評価すべき。
- ◎・知識が増えた。考え方に影響を受けた。
- ・基礎ゼミやポケゼミでは人間関係が広がった。
 - ・ちゃんと勉強すれば単位はとれる。
- ◎中長期的に展開していく学習に繋がらなかった、もしくは繋げようとしなかったことを後悔しています。
- ◎幅広い分野から学ぶことができ、内容もそれほど難しいものでなかったのも、悩むこともなく、楽しく学べた。
- ◎高校時代に面白そうだと思っていたものがそれほどでもなかったり、逆に全く興味のなかったものの講義でも受けてみるととても面白かったりした。さまざまな分野に触れることで興味の幅を広げることができるのが全学共通科目の利点だと思う。
- ◎講義は出席が自由だから、つい怠けてしまい欠席が多くなった。すごく惜しいことをしたと思う。
- ◎自分の専門分野のみならず、他の分野の学問の一端に触れることで、自分の本当に目指そうとしている専門分野にも良い刺激になるのだということに、改めて気付くことができた。
- ◎非常に面白い授業がたくさんあって、自分の知的好奇心を満たしてくれる機会がたくさんあったのにちょっとだるいからという理由でほとんど行かなくなった。無理してでも授業は出るべきだった。昼寝で大事な時間を浪費した。

◎専門に入る前にその予備知識として一般教養を学ぶことは有意義だと思う

○総合大学でさまざまな学問分野があることは、京都大学進学を目指す大きな動機の一つだった。せっかく自分の専門を超えていろいろな分野の先生の話聞けるのだから、もっと学生が興味を持てるような内容で、かつはじめのある授業が受けられれば良かった。単位はほしいけれど、それ以上に面白い講義を聴きたいという気持ちのほうが強いです。

◎京都大学の全学共通科目は様々な科目があって楽しかったです。

また、知識を詰め込むだけではなく、各分野の専門がどのようなものなのか垣間見られたのが良かったと思います。

◎時間の有用性

○シラバスを見て面白そうだった授業の中には、確かに面白かったものもあったが、期待外れなものもたくさんあった。

◎京大の教師のクオリティの低さにがっかりしました。天下の京大なのに時代遅れな授業をしているのだなと感じました。

7. 5 経済学部

◎幅広い分野を教養として学ぶことで自らの専門分野の理解をさらに深めることに繋がると思った。

◎様々な講義をとることで、自分の専門分野とは直接関わりのないものであっても多少の教養は身に付けられたように感じられる。勿論、身に付けたように感じられるその教養の質や量は、その分野のプロの方からすれば微々たるものであることは間違いないが、大学に入る前に比べたら、そうした教養は向上しているように思われる。日常生活でも役に立つことが何回かあった。

◎授業に熱意をもっている教員は少なく感じた。

熱意を持っている教員の授業は分野に関わらず、わかりやすく面白いと感じた。

また、成績評価の方法が不透明な講義が少なかった。

配分などは発表されている場合は多いのだが、フィードバックがあった講義は皆無といっても過言ではないと思う。

実際に自分が例えばテストで80点を出されたとして、20点分間違えたのはどこなのか、何がいけなかったのか、ということが全く分からない。つまり各成績評価後に生徒が反省・成長することが不可能で、これはいささか問題だと思う。

◎学問のひろがりを実感し、可能性は無限にあるあんだなと感じれました。

しかし、1年目はその可能性を無碍にしえしまいました。自由すぎる履修は魅力でもあり、また毒でもありました。

◎何よりも、語学はあまり実用的な面において意味がないと思います。

つまり、語学の必修履修単位をもっと減らしてほしいです。

◎所詮はパンキョーで専門科目ほど面白くはなかった。

C群の英語も入試の難易度にたいしては簡単だし、1年間予備校に通った人間としては授業の質もそれほど高いとはいえないものだった。

最近是一般教養の講義を英語でやるとかいう話も出ているらしいがその前にまず従来の英語の講義の内容自体を見直したほうがいいと思う。

私は来年度もC群の単位を残しているが、講義は楽なものを選んでその分の労力を他のことに回すつもりだ。

◎無意味。

授業に意義を感じなかった。

出席点のために授業に参加するのも、ただ時間が奪われるだけなので嫌だった。

もっと簡単に単位を取れるようにして、自分のやりたいことを追求できるような環境にするべき。

松本総長のやろうろしていることは、全体の学力を上げるためだけにあって、単位を取る事を難しくすると、個人のずばぬけた能力、意欲を下げてしまうだけである。

無意味。

○B群の講義では当然のように物理などの公式が出てきていたのですが、それらに関しての説明が少なかつたため、文系の私にとっては話についていくのが厳しいことがありました。

◎中国語大変良かった。語学学ぶにしても、知的好奇心を刺激してくれるような内容があるのがよい。※※、※※、※※先生はそれを提供してくれた。

ゼミ形式や、プログラミングの演習形式などは満足度高かった。

◎出席義務などで学生を縛り付けるのではなく、教授のコミュニケーション力、講義内容の魅力で学生を惹きつけるような講義が増えてほしい。

教養科目の面白さは予め決まったものではなく、学生が自身で見つけ出すもの。単なる実用重視のビジネススクールに成り下がらないようにお願いしたい。

また、履修人数に応じて柔軟に使用教室を変更する仕組みがあれば、より無駄なく快適に講義が受けられるのではと思う。

○全学共通科目で、様々な知識分野に触れることによって、「将来」を少しでも明確にしたい、と考えていましたが、やはり数ある全学共通科目の中から授業を選ぶとなると、もともと自分の興味関心が高いものを選んでしまいがちで、自分が苦手な分野を敬遠してしまったことを反省しています。このように、多種多様な授業を受けることが出来る、というのは貴重な機会だと思いますので、自分の苦手分野にも積極的に取り組むことが出来れば、なおよかったと思います。

◎もっと京大らしい変わったテーマの講義を受けたい。水圏生物学入門は変わっていてかつ面白い授業の一つだと思う。こういう授業がもっと増えてもいいのではないか。

◎時間割を作るのに苦労した。

取りたい科目が多くなりがちだったので。

- ◎成績評価基準がきちんと統一されておらず、授業ごとに単位取得のために求められる努力量がかかなり異なっていることは、きわめて深刻な問題だと思う。特にテストの採点過程があまりにも不透明だと思う。答案の返却やマークシート方式などをもう少し利用して、テストの客観性をもう少し高めてほしい。
- ◎自分は他大学を中退して京大に来たが、教養科目においてこれだけ様々な分野の講義が開講されていたことは京大に特有のものであり、選択肢が多くて非常に良いと思った。
しかし、開講後しばらくは立ち見が続いてノートが取りづらいなど、設備面での改善の必要性を感じた。
また、ポケット・ゼミについては受講したいゼミが複数あるにもかかわらず1つしか受講できないこと、2回生以上は受講できないことは不満に思った。
- ◎今すぐには役に立たなくても、教養を深めるうえで不可欠な科目が多く開講されていたのが良かった。今後もそうであってほしい。
- ◎大学の共通教育の幅の広さに感動しました。一見自分とは関係の無いような科目でもその学問的な追究と見探索領域の広さに自分の学びはまだまだ発展途上にあると思われました。
また、こうした様々な知を蓄えている大学という機関をすばらしいと思いました。実学にとらわれず、様々なことを探求する余裕とそうすることが使命である大学という在り方はこれからはぐくまれなければならないと思います。
- ◎疲れました
- ◎科目によって難易度に関きがありすぎる。
- ◎もっと好奇心のそそられる、面白い講義を受けたい
- ◎科目によって差が大きく、また自分が具体的に何かを得たと感じる科目はほとんどなかった。
- 文系であるため、理系（B群）の科目で面白そうなものが少ないと感じました。その結果、あまり興味がない授業を取ることとなり、学習意欲があまりなかったです。もう少し科目の種類があって欲しいと個人的には思いました。

7. 6 理学部

- ◎自分が何に興味をもっているかということがなんとなく見えてきたような気がします。
- ◎専門科目を勉強するために受験勉強を頑張ってきたのに語学や一般教養科目ばかりの時間に辛さを覚える時期もあった。(特に前期の終わり頃)
一方で、教養科目として哲学の講義をとったことは僕に大きな影響を与えた。今は、哲学の講義を進んで受講し、哲学の世界を楽しんでいる。
- ◎1回生のうちは専門の講義が少ない
- ◎学部科目にしてもよいような講義(例えば、微分積分学、や線形代数学など)が全学科目にある。この関係で、吉田南までの移動が大変なことが多い。空き教室の都合もあると思うが、対象学部の科目は学部内の教室でやってほしい。

- ◎ある程度興味のある分野でなければ、全力で取り組めないと思った。
- ◎自分は専門でどのようなことをやりたいかということが確定したうえで京都大学に来たので、コマ数、単位の関係で十分に専門をとることができないもどかしさがありました。一方で、様々な分野に専門というものが存在しているということが一般教養を通して理解できました。ただ、一概に何群は何単位とらなくてはならないと決まっていると、やりたいことが決まっている私にとっては非常にめんどくさいものがあります。もちろん様々な分野を見ることは非常に有用だし大学の始めの段階ですべきものだと思いますが、それを強制する点が非常に不快です。さらに、今後の一般教養で社会に役にたつことをするという安直な発想のもと、エクセルの勉強などといった授業ができるかもしれないと聞きました。これは大学のすべきことでしょうか。いくら一般教養といっても大学とは何かという点ですごく見失っているものがあると思います。あと、一般教養の授業で、ほんとに就職に直結したことをしているのは皮肉にも国立でも私立でもなく、専門学校だと習いました。これはデータに基づくもので私も納得しました。就職や社会のために大学のあり方をもっていくなら、大学をやめて専門学校にすればいいのです。しかしこれはどこの大学も行われていません。理由は明らかです。大学の機能として、上記のような役割ももちろん捨てることはできませんが、もっと重要な機能が存在しているからです。この点をもっと重視した専門学校的でない本来の大学としての一般教養をつくってほしいと思います。(このことは皮肉にも一般教養の授業で話題を提供され、考えたことです)
- ◎自ら考え、解決する能力を養える良い講義もあれば、その一方で知識を詰め込むだけの講義もあり、これらの間の理解度の差が非常に大きい。
主体的に考えて解決していくスタイルの講義がより多くなるとより良くなっていくと感じる。
- ◎第二外国語の学習の、進行スピードの速さについていけず苦勞した。
時間を他に費やしたかった。
- ◎なんで俺大学に入ったんだっけか・・・
今まで周りに頼りっぱなしだったんだなあ・・・
それで俺は何したいんだろう・・・
なんで俺は飯を食い、生き長らえてしまっているのか・・・
明確な意志も無く・・・
情熱とは何なのか・・・ (完)
- ◎高校と全く違うことを勉強するのは新鮮だった
知らないことを知るのは楽しい
- ◎最初は数学の難しさに驚きましたがもう慣れました。何事も基礎が肝心だと思うので、般教だからとバカにせずしっかり理解をすることが大切ですね～
- 単位を取っただけで実質何も身につけることのできなかったものがあった
- ◎1年間、ほとんど全学共通科目しか受けなかったが、とても有意義な授業を受けられたと思っている。ただ、毎年のように制度が変わるせいで、それが気になって勉学に集中できない。

◎高校時代と違い、単位認定の基準が緩くなっていたり、必ず取らなければならない単位というものが少なかったりしたため、自分に合わないと感じた科目の学習がおろそかになってしまうことがあった。

逆に、自分が興味を持ったことについてはほとんど追求できる余裕があったことは嬉しかったが、この姿勢が全学共通科目に対する姿勢として適切だったか不安である。

◎日々精進

○入学時には考えなかったようなことに興味をもてた。

授業外で自分で勉強することについても考えさせられた。

◎大雑把な言い方をすれば、もっと知的好奇心をそそられるような科目が沢山あるとよいのと思った。

◎内容はもっと難しくしてよいと思う科目が多かった。演習などをいれてやればよいと思う。

○自分でも、その先生の著作を読むなりなんなりして、勉強できるといった点がいくつもある。

B群科目では特に90分を授業に費やすのと、自分で効率よく勉強するのとどちらがいいのか。その半面、様々な人がいて面白いなと思った。周りを知ることで鼓舞されている自分もいた。

○理系科目に全くついていけなかった。文系科目も、いろいろな知識が紹介されるのなら楽しいが、先生の見解ばかり述べられるだけだと何も面白くない。

◎理系科目が高校内容と大きくかけ離れすぎていて、全然面白くない。高校のとき感じていた面白さも全く無く、世の中の役に立っているのか、という疑問も持ち始め、現在は大半が世の中の役に立っていない研究で、やるだけ無駄だ、と感じている。

◎要領がよくなった。

◎興味があった分野の授業をことごとく抽選で落とされて不快だった。

◎自分の興味の有ることに対して時間をあまりかけなかったことに対する後悔

◎もっと一般教養を身に着きたい

◎授業によっては、あまり考えたことのなかった分野についても、関心がたかまって、いい経験ができたと思う。

◎1回生の前期はなにも考えずに25コマすべて埋めてしまい、しかもほとんどの授業に出席したので内容があまり頭に残らず、獲得単位数のわりに得られたものが少ないという結果に終わりました。こういう失敗はもったいないので、一回生の人にはこのようなこともあるとガイダンスなどで忠告してもらえるとよいと思います。

◎全学共通科目の担当教員の多く（総合人間学部、理学部）が如何に京大の自由の学風を大事にしているかが分かったし、その学風の中で学ぶ意義を見いだした。唯一残念なのはそれが殆ど享受出来ない状況に今の学生はいることだ。

◎しっかり勉強しなければならない科目や、高校時代にかなりやっていたために授業に出なくてもわかる科目など、色々あったが確実に単位を取るためには後者が、色々学ぶためには前者が使える、どちらも良かったと思う。

◎最新の研究成果を踏まえながら行われる授業がとてもおもしろかった。

◎様々な科目を勉強できたのはよかったと思います。

全体的に楽しく面白かったものが多かったように感じます。

ただ、今年度から実施されている半期 30 単位までしか取ることができないというキャップ制は廃止して、昨年までのように上限なしにすべきだと思います。

◎教師によって生徒への教え方の熱意にかなりの差があったと思う。語学に関しては熱意に差は見られなかったものの、教え方のうまい下手があったり、単位がとりやすかったりとりにくかったりすると思う。一般教養に関しては、先生が自分の研究していることを生徒にもっと知ってもらいたい、もっと興味を持ってほしいということは伝わるのだが、勉強して予備知識のない人にとっては簡単に話すといっても難しい内容であり、単位のための授業になっていることは否めないであろう。この話をすると、そもそも単位のための授業は必要なのかという問題になってしまうのだが、学問とはお分かりの通り単位のためのものでなければ、卒業のためにするものでもない。自分の知識として身に着けそれを自分の将来に生かしたり、それ自体を楽しむものが学問ではないか。したがって、私はまず単位制度ということに異論を唱えたくないのである。京大は世間からすると自由な学校とみられ、実際他大学に比べれば、自由の度合いは強いであろう。しかし現在、あまりにも単位の為と違った方向に勉強を奮闘しているものが多いのではないか。また、単位だけとなると必然的に学期末のテストだけ点数が取ればいいと授業をさぼり、テストだけ受けるというまさに詰め込み以外の何物でもない行動をとっている人が多いのではないか。

京大という学校だからこそ、学生一人一人が自ら学ぶというような学校制度にしてほしいものである。もちろん無理は重々承知である。しかし、京大だからこんなことを言うのである。今も非難されながらいろいろな取り組みをされていることと思うが、これからの改革にも期待したいと思う。

◎A群の内容に興味をもて、楽しく受講することができました。

2013 年度から制度改革が行われ、自分の興味のある科目の大半が現代社会適応群や拡大科目群扱いとなり、卒業に必要な単位としてほとんど認定されなくなったのは、新入生にとってかわいそうだと思います。

全学共通科目の改革には反対です。

B群は、抽象的な話が多く、授業を聞いてもあまり理解できませんでした。演習や具体的な話を、” 解答例も含めて” もう少し増やしてほしいです。

◎せっかくいい面白い授業が多かったのに英語ができることだけを優先して教養教育をないがしろにする今年度からの全共には大変がっかりです。京大のよさが台無しになりました。英語は英語だけの授業を充実させた法がよいと思います。

◎KUINEP 講義は、刺激的だった一方留学生にとってはレベルが低そうで留学生に対して申し訳なく思った

◎広く浅くといったスタイルの授業よりも一点に集中して掘り下げるタイプのものが自分には合っていると感じた

- ◎教員が生き生きと授業内容について語っている姿を見て、大いに啓発された。
- ◎講義を聴き、関連する知識を図書館などで調べることで、教養と呼べるような知恵を身につけられたと思う。
また、その過程で、自分の意志で何を学ぶかを選び、身につける方法について考えるようになった。
- ◎京大生と言っても、授業中ずっと教室の後ろで携帯いじっていたり、こそこそ話していたりしている人たちがいて呆れた。しかしそういう人たちを見て、自分は墮落しないようにがんばろうという気にもなった。
- ◎とくになし

7. 7 医学部

- 自分の専門に関わる講義だけでなく様々な分野の講義を受けることができ、幅広い知識を得ることができたと思います。
- 自分個人だけとする勉強ではなく、グループワークを通して、受験勉強とは違う勉強に対する姿勢を身につけることができた。
- 色んな分野に触れることができて楽しかったです。
- ◎多くの講義科目において、教師と学生の距離があまりに遠く感じ、授業内容に関心が持てなかった。結局授業を受けるよりも自分で本を読んだほうがよっぽど勉強になると感じた。いわゆる「単位が降ってくる」科目の存在を確認した。
- どの授業でも自分から質問に行ったり先生とコンタクトを取ろうとすると快く迎えてくれて、自分の専門に関係ないことでも強く印象づいているものはたくさんある。半期15回と長いので、リレー講義はだれにいく好きだった。
- 専門に拘らず幅広く学んだことで、視野を広げることができたように思う。
- ◎多くの人が自身の興味によってではなく、単位の取りやすさによって受講する授業を決めている気がする。成績評価の方法などはシラバスに載せなくてもいいと思う。
- ◎京都大学に来たからには、この先生のこの科目が取りたい！と思っても抽選で外れてしまうと履修できなかったり、科目が学科指定で取れないといったことが多々あるので早急に改善していただきたい。これでは何のために苦労して京都大学に入ったのかわからなくなる。
- ◎なかなかマニア心をくすぐられる、最高の授業ばかりでした。
- 興味のある授業であっても、怠惰が勝ってしまい学校に行くのがだるい。
- ◎自分の知識・教養の無さを実感した
- ◎京都大学で受講したほとんどすべての全学共通科目は私にとって実り多いものでした。ごく一部の講義において、教師の行動が私にとって不可解で、出席すること自体にためらいを感じるものがあつたことだけが残念なことでした。
- 医療系の職に就きたかったため理系に進みましたが、以前から興味があつた日本文学や古典、心理学の授業を受けることができて満足しています。

- 高校までとは違って、自分から追い求めないとおいて行かれるということを知りました。
ですが、高校のような授業形態にならざるを得なくなっている授業があったので、先生がそのような手段を取らざるを得なくなっている今の学生、および学校のシステムに少し不満を感じました。
- ◎授業内容は全体的に思った以上に難しかった。特に専門的な内容が多かったので、今まで触れたことのない分野に関してはかなり高度な内容の講義だったと思う。
- ◎授業に対しての興味を掻き立てるものがなかった。
- ◎選択した科目に恵まれていたのか、ほとんどどれも面白く、前期だけでなく後期も続けて取るものが多かった。総合大学なだけあって先生方の授業はとても魅力的だった。授業の進め方として、授業内容に関する生徒の意見や考えを毎回の授業でいくつか紹介しフィードバックするスタイルは生徒と教員の距離が近く、より授業に参加している実感があったため毎回楽しみだった。
大きな不満としては、試験の際のカンニング防止をより徹底してもらいたい。
- 生物学、化学の実験コースは、全学共通科目として受けれたことが心から良かったと思える程充実した内容でした。
専門が多いので、卒業単位取得だけを考えるとなかなか履修できる環境ではないのがもったいないと思いました。
- 拘束なく自由に受講科目を選べて、よかった。
教務の対応などで、雑なところがあり、不快な思いをすることもあった。
- 全体の授業を通して、内容に関わらず教授の話が延々と続く授業には興味を持つことが難しかった。1回生の特に前期は、自分が以前から興味を持っているものだけではなく、それまでに触れたことのない新しいテーマにも手をつけてみようと思えば幅広い内容の授業をとったが、前もって興味があるわけではない内容で興味を持つことが出来た授業は少なかった。どちらかといえば話だけでなく映像も活用した授業の方が興味を持てたので、そのような授業がもっと多ければより良かったと感じた。
- ◎まず、医学科A群の必要取得単位が20単位というのがおかしい。10科目も興味のある科目で揃えるのは実質不可能だと思う。
これにより、興味のない科目に取らねばならなくなるのだが、今の京大の科目は出席を必要とされている科目が多いので、出席せざるを得なくなるのだが、それでは教室の人数が増えすぎて興味を持って授業を受けている人のじゃまになってしまう。
ぼくとしては、毎回出席したが興味を持てず座っているだけだった科目よりも、若干休みはしたが、出席している時は真面目に聞いていた社会学の方がよっぽど面白かったし、得たものが多かったと思う。
勉学を義務化しないと全く勉強しなくなる学生がいるのは事実だが、そのような学生はほっておいてもっと自発的な学習を促すべきだと思う。
- ◎面白い授業と単位をとれる授業のバランスをとるのが難しい

7. 8 薬学部

◎全学共通科目の授業においては、先生が本気で取り組んでない、というよりもしくは、ただただ作業をこなしてるかのような授業が多かった。

もうちょっと生徒側も積極的に聞くことが大事なのもわかっているが、生徒たちに理解してほしい、というゆう熱意が感じられる授業は少なかった。

◎1回生の時から専門的な研究をするのは無理なので、個人的には自分の学部の専門的な内容にあまり関係ない分野を学ぶことで知識の幅を広めるという方針で学習するべきであったかと思います。

◎世界に行ってる教授の話など、スケールが大きい話を聞いて視野が広がった

○もっと真面目になれば良かったと将来的に後悔しそう。

でも充実はしていた1年なのでこれはこれで一つの生き方。

◎単位をとるより、得点をねらいにいくと、意欲的に勉強できた。

◎強制されなければ人間は楽な方に流されてしまう。

◎様々な先生がいて、様々な考え方を持っておられる。それらに触れることができよかった。

○自分がこれから専門として習っていく分野以外の分野を垣間見ることができて楽しかった。

◎特にA群科目の授業中で内職をしないと単位をとれない状態になってしまっていた。

◎自分の専門分野以外の知識が得られたことで、より幅広い視野がもてるようになったとは思いますが、必要単位等の拘束条件が多すぎて、本当に自分が興味のある科目を学べたかという点については疑問に感じます。

7. 9 工学部

◎A群に関しては当然のことかもしれないが、興味深い講義もあれば、全く聴講しようと思えないものもあった。けれども最終的には、幅広い知識を得られたため、満足している。B群に関しては、内容は申し分なかった。ただクラスによって難易度の差を感じた。特に微積の講義は難解で苦労した。その分得られたものは大きいとおもうが、もう少し難易度の差を小さくすべきだと思う。

◎あまりにも単位を取ることが簡単だった。

理系の学生なのに理系の重要な科目の単位があれほど簡単のとれたのでは、試験勉強も大したことをせずともいいわけで、今後のより上位に位置する勉強をする際に支障をきたすことは間違いない。

それに、意識を高く持つ学生にとってはその高い意識を挫くようなこともないとは言い切れない。

別に試験を難しくしてほしいとかいうわけではないが、もう少しどうにかならないのだろうか。

単位を与えることばかりが学生のためになるとは思えない。

- 自分の進路に全く関係がない科目も多く受講し、科目間の偏りもあったが、自由に好きな科目を学べるところがよかった。
- ◎クラス指定科目の授業ではクラスにより成績評価の基準がバラバラであり、不公平に感じた。
- ◎数学系の科目の教授の授業がわかりにくく、自分で本を読んでも理解がふまった。
- ◎席が毎回足りていない講義がいくつかあった。広い教室を使う、講義回数を増やすなどしてほしいかった。
- ◎A群は理系ということで面白くなさそうだったのに、一年終わってみると意外と面白かった科目が多かった。特に発表、議論を要する科目は準備も大変だったが、他学部の人とも仲良くなるなど、メリットの方が多かった。逆に講義は群を問わずつまらないものが多かった気がする。
- ◎講義のレベルが高いように感じたが、何とか追いつくことができたので、よかったと思う。
- ◎難しい
- ◎わからないところを理解するのがたのしかった
- ◎A群の講義でやってることが下らなすぎる
- ◎先生によって授業のわかりやすさが全然違う。
- ◎いい意味でも悪い意味でも不均一
- ◎やはり大学の知識が難しかったと思います。共通科目の内容は学生たちの予備知識をよく考えた上で、行われたほうが良いと思います。
- ◎工学部はある程度履修内容が固定されている。
工学部生であってももう少し文系科目に力を入れるべきであると思う。
- ◎もっと単位を楽に取らせてほしい。
- 数学質問コーナーがあったおかげで、わからないときは伺いに行けるのでとても助かりました。物理コーナーなどもあったらいいと思います。
- ◎ためになったとは思いますが、興味のない科目を取っても勉強しないことが分かりました。
- ◎教養科目（A群）は好きなものを選べたので、自分の学部では扱わないが前から興味があった心理学・教育学系の授業をいくつも受講することができてよかった。
- ◎試験期間が専門科目のとずれたらいいと思います。
- ◎小テストを増やせば良いと思った
- 前期のB群の図学では、教授が質問しやすい環境を作ってくれたおかげで、大変ではあったが単位を取れたときの嬉しさを感じることができ、図学が充実した授業だったと思えた。2回生も、その時の気持ちを忘れずに専門の授業に臨みたい。
- ◎京大らしい授業が受けられたと思いました。
- ◎他の人たちは過去問をやるだけで授業に出ないで単位をとったりしていて、あの京都大学の学生様も結局はこんなものなのかと思った。
予習復習を毎日きっちりしていたので毎日がつらかった。
- ◎他の学生との交流を図りたかった。

- ◎A群科目は※※※※※のみ関心が向いて、他の科目は単位を揃えるためとしか考えてなかったことが個人的な反省点である。B群科目はどれも興味深いもので、内容や試験はとても難しかったが友人との勉強会を通して理解できたし仲も深まったので良かった。C群科目は、英語は良かったが第二外国語は学習すればするほど嫌いになったが世界にはこのような言語が存在するのかと知ることができたので無駄ではなかったと思う。D群では体動かせて満足です。
- ◎A群の講義はわりと興味が持てた。スポーツ科学に関する講義をもっと増やしてほしい。D群科目がちょっと少ないと思う。
- ◎学部専門外の分野について学ぶことができるのは、非常に有意義であった。ただ、専門分野へ入っていく際に、何がどの程度関わって重要となるのか、もう少し明確にしてほしい。また、転学部等がしやすいように、どの授業をとったらよいのか、各学部ごとに明確に示してほしいと感じた。
- A群科目は自由に自分の興味あるものを選べたが、B群は学科で指定された中からとらなければならないので、ほかの色々な授業を選べないのが少しだけ残念だった。
- ◎特に不満などはなかった。
- ◎自然科学系の授業が非常にわかりにくい解説だった。せめて授業前に用意しておいて授業中に解法を考えないでほしい。
- ◎スペイン語難しかった。
家で勉強しないとだめだなと思った。
ちなみに単位は落ちた。
自業自得。
- いろいろあったが専門科目の関係で取れないのが多くて残念だった
一般教は減らさないでほしい
- ◎特にありません。
- ◎※※※語の発音の講師が非常に挑発的な発言をするのを見て、確かに学生側の講義を受ける姿勢は未熟であると感じた。
それにもかかわらず穩便に講義を進める、前述の講師以外の講師の冷静さ、あるいは諦観を痛感した。
- ◎一般教養が幅広い分野があり、自由に選べたので楽しかった。語学（第2か国語）はやることがいっぱいあるにもかかわらず 時間が2時間しかなく、常にせっぱつまった感じであった。
- ◎ 学生の予備知識を高く見積もらないでいただきたい。特にB群。記号や符号を新しく使う場合は、その都度何度か説明してもらわないと学生は授業ではなく、その記号や符号と格闘することになってしまいます。
また授業理解度を確認するために授業の後半に簡易なテストを用意していただくと学生にとっても教授にとっても有益だと思います。

- ◎B群がクラス指定しか単位認定されないのが、残念だった。
- ◎なんだかんだちゃんと出席とかレポートをやれば取れない単位はないと思いました。ただ優を取るとなると難しい科目もあるのかもしれない。
- ◎とても有意義な授業でした。
- ◎専門やB群の勉強に時間にとられて、その他の科目になかなか時間を割けなかった。その結果、その他の科目についてはとにかく楽に単位が取ればよい、という思考に至ってしまった。
- ◎最初は大学での学びの姿勢がこれまでと違うことにとまどった。しかしそれに慣れていくうちに、それが本来の「学習」の仕方であり大切なことだということがわかった。これは、京大の自由な学風の下、さまざまな講義でいろんな先生の考えに触れられたからだと思う。だが、クラス指定や履修制限で興味があった講義がとれなかったことが結構あったのが残念だった。それはH25年度の講義を選ぶ上でもいくつかあったし、それ以外にも下級生からキャップ制が導入されたこともあり、学生が講義を選ぶ上での制約が増えているように思うので残念だと思う。
- ◎講義の内容だけでなく、教員もその講義の価値に大いにかかわるということを実感した。
- ◎まわりの友達が優秀なので勉強でわからないところなど聞きあってできたのがよかった。また、教養は今後生きていく上で必要だと思った。
- ◎全体的に分かりづらい授業が多かったように思います。学生の理解度を確認しながら授業を進めていただけるとありがたいです。内容が理解できれば、より勉強が楽しくなり、意欲的になると思います。
- ◎微積分の先生は頭がいいけど、授業の進み方がわからない
- ◎ある程度希望していた教養の分野については学べたので良かった
しかし、教養の履修登録に関しては抽選が多く、落選することが多かったのが残念だった
- ◎高校の勉強は問題を解くということが中心だったが、大学では理解することが中心のようで、ただ同じような作業を続けていただけの高校時代の学習よりも楽しく感じられた。
- ◎ゼミの授業で他の学部の人と議論できて楽しかった。
- ◎工学部の一般教養科目（旧B群）が大きく制限されていることに問題を感じる
他学科科目の受講や転学科の敷居を低くすべきではないだろうか
- ◎単位取得の難易度が教授により違うことを実感した。
理系科目が自分にとって難しく、ついていくのがやっとだった。
授業を受けきる体力がないことが分かった。
- ◎授業に積極的に参加して、いい成績が取れたことに満足できた。
ただ、授業にあまり出てない人との違いがあまり実感できなく思えた。
力がついていないのか心配に思える。
- ◎いろいろな刺激をえられました。
- ◎時間割においてクラス指定科目をもっと学生の自由な意思で選ばせていただきたいと思った。

◎先生によっては学生にとって面白い、また聞き入ってしまうような授業があって素晴らしいと感じたが、すべての授業がそうではなかったので、僕のような文系科目に苦手意識を持つものが面白いと感じるようなA群の授業を充実させてほしいと考えた。

◎正直京都大学にはかなり失望した。京都大学での学びは私の将来の展望に大きく貢献してくれると期待していたのだが、そうではなかった。自由の学風や学生の自主性といった言葉は単なる教師側、大学側、の怠慢の言い訳でしかなく、買わせた教科書は一度も開かれず、専門の講義に関しては生徒の理解度を全く考慮に入れずただただ講師が話すだけの不毛な時間となっている。大学生の授業の欠席を問題視し、出席を促すためのどこかのポスターに「母が働いてくれた三時間で、私は90分学ぶことが出来る」といった言葉が書かれていたが、そんなもの大学生の私からしてみれば現在の京都大学の講師陣に投げつけてやりたいものである。

◎単位は降ってくる

◎数理科目の勉強相談口がもっとたくさんあると嬉しい。

数学などの質問について答えてくれる場所があったが、時間が限られすぎていて使えなかったり、あまり役に立つ答えをもらえなかったりした。がっかり。

幅広い教養科目から好きなものをとることが出来た点は非常にありがたいことだった。心理学については特に楽しかった。

もっと勉強熱心にやっておけばよかったと後悔する面もあるが、体力のことで単位とを考えると、この1年間はそこそこがんばってたといえそう。

◎人によって講義への意欲の差が大きいと感じた。知識が身につけているのかよくわからなかった。

◎学ぶことよりいかに単位を取るかに躍起になっている。先生も生徒もやる気のない授業が多い。

◎天井が見えない 底も見えない

◎学問の基礎を教えてくれる講義より少しそこから外れた(※※※※※)などのほうがより実践的で堅苦しくなく、共通科目の役割として十分に機能しているように感じられた。なにより、話が面白いため興味が自然と湧いてくる。教員もやりたい事をやっているためか熱意が感じられる。

私が一番がっかりしたのは学科の必修科目である。出席などというつまらないものに拘泥したために授業に全く興味が湧かず、「勉強しに行く」ではなく「勉強させられている」感覚に近かった。只でさえ「必修」と名の付く講義なのだから出欠は割りとは自由にするべきだと思った。たとえば「一ヶ月ごとに範囲に沿った課題を出して、BOX 提出にする」といった、出席に頼らない学習成果の評価方法もあるはずである。また、「全体の実力の底上げ」という割と無茶な目標を掲げたためか、講義内容が教科書一辺倒。面白みも何も無かった。そして、教科書の内容なら十分自学が可能である。そのくせ、教科書が絵本みたいな厚さで自然と参考書を買わずにはいられない。無駄である。

- ◎大学受験後から英語力の低下が著しいので、改めたい。
- ◎私は楽勝科目と呼ばれる講義に疑問を持った。ある講義では600人以上が受講しているのに実際に授業に参加しているのは100人程度で、しかし期末レポートを提出すればだいたいの人が同じような点数で単位を取れるものであった。真面目にやってる人にとってとても不公平だと感じる。こういう生徒を減らすための対策を期待したい。
- ◎自分の専門以外の興味ある分野を自由に選択し学べることは全学共通科目の魅力の一つだと思いました。しかし一方で、学生間で流れる単位のとりのやすさや授業の厳しさなどの情報によって自分が本当にとりたい講義を履修できなかつたりあきらめてしまつたりするようなことが頻繁に起きていました。自由度の高さによって引き起こされるこのような事態に何かしらの対処をすべきだと思います。
- ◎一般教養科目で私が抱いていた勉学のイメージに囚われない多様な学びを受けられた事が非常に良かった
- ◎全学共通科目が、幅広い教養を謳った空虚なものであることを実感しました。
特に工学部に至っては、クラス指定科目以外で同じ群の単位を取ろうとしても、時間割の開いたコマに該当する授業がほとんどなく、クラス指定科目に完全に従えと強要されているようで不快です。
- ◎半期の講義では時間が足りないためか、シラバスの内容が最後まで消化しきれていない講義が多々あったため、計画性を持って講義を進めてほしいと思った。
- ◎学部によっては留学する意義がうすい学部もある
勉強より大事なことがある
- ◎高校の延長のような講義が多かったが、これぞ京大と思える講義が少数ながらもあって楽しかった。
- ◎彼女といっしょに授業受けたらとてもやる気が出ました。
今年からは授業やシステムが変わるようですが、去年までの京大であってほしいです。
- ◎受身では何もできないことを感じた
- ◎専門科目以外のコマの空きを埋めないのはあまりに惜しいとばかりに埋めた。それでも足りないと思ったし、抽選にはずれて悔しくも受ける事の出来ない講義もあったが、この一年だけでとても沢山の知識を身につけることができた。そして私は現在工学部生であるが、私にとってもっと魅力的で学問するやる気の起こる分野を沢山目にする事ができたので、やはり私に今の身分は相応しくなく、私自身が本当に学びたいと思うことを学び、それを修める必要があると改めて実感した。これらの知識を、ただ学んだだけで終わらせないよう、分野別に分類して、私の専門としようとしている領域でも活かせるようにした。大方の学生は、これらの貴重な経験をただの思い出にしてしまうか、もとより単位を稼ぐことしか考えていないものと思うと、大学生として大変情けないし憎らしくも感じられるが、こうした教育は自覚ある大学生にとって学問を修めるための大きな力になるものと確信している。今後も充実した科目を学生に提供し続けてください。

- ◎全学共通科目の授業は大体の授業はちゃんと力をつけてくれるものであったが、一部ほとんど勉強していない人でも単位がもらえるものもあった。頑張った人とそうでない人が同じに扱われるのはよくないと思う。
- 担当の先生との交流時間を増やして欲しいです。
- ◎自分の予備知識が少なすぎて、授業に興味関心が持てず、面白くなく感じるが多かった。もっと自発的に様々な知識を身につける必要があると感じた。
- ◎工学部は2回生になると履修すべき科目数がかかり減るので、A群を2回生になってから履修すべきだったと今思う。各学年における履修すべき科目のコマ数は、一回生のはじめのうちに教えて欲しかった。B群の課題をきちっとこなすだけの時間を1回生のうちは確保できず、理解が追いつかなかった。
- ◎少なくとも京大では、自分から動かなければ何も得られないところだということを痛感しました。
- ◎うるさい生徒がいたら先生が注意すべし
- ◎大学になって内容が高度になって面白かったです。
- ◎物理学実験のレポート課題は他の授業と違ってかなり大変だったが、なかなか充実して将来性のある課題となっていてとても面白かった。
逆に、楽勝科目と呼ばれている科目に関してはあまり面白くなかった。
単位を取ることが半ば作業と化していて、過去問の入手さえうまくいけばほぼ同じような問題がでるために簡単に単位を取ってしまう。
そんな勉強のやりかたで単位を取れるようなテストを作っては、本当の意味での学力を作り上げることはできないし、何かしら改善を加えるべきだと思う。
- ◎最高だったと思います
- ◎工学部で、B群科目の教養をもっと深めたいのに、卒業単位認定されないのは非常に残念でした。
A群も良いですが、生物系や地学系など、もう少し理系の内容を学びたい。
- ◎自分の興味のあるさまざまな分野を履修することで、たくさんのことを学べたのでよかったですと思います。
- ◎興味のある内容を自由に深く学べたので非常によかったです。
- ◎授業を聞いて理解できないのなら自分で勉強した方がいいと思い授業にでなくなりました。
- ◎おもしろくない授業が多かった。
- ◎単位のためにとりあえず履修してみた授業が意外におもしろくて、自分の知識を広げる役に立ったと思う。
- ◎世の中にはこんなに頭のいい人がいるんだなあとの教授を見ても思いました。ただ教授が自分たちに求めている基礎学力が高すぎる気はしました。
- ◎専門以外のことを学べたり、専門の土台となることを学べてよかったです。
- ◎新しい物事を憶えるということの難しさと、新しい物事を知るといふ喜び

- ◎真面目に授業を受けている人とそうでない人との差が大きい。授業中ずっと携帯電話・スマートフォンなどをいじっていたり友人としゃべっていたりする人がおり、大迷惑である。授業を受ける気のないこのような人たちが「出席」のためだけに教室に足を運んでいるとしたら、評価方法を改めるべきだ。
- ◎果たして自分が何かを学ぶことができたのかよくわからない。単位は人並み以上にとれたと思うが、授業の内容を忘れてしまっているものも多い。いったい何のために自分は今この授業を受けているのかわからないことがよくあった。自分から進んで勉強することのむずかしさを体験した一年でした。
- ◎受講者数がどんなに多く、教室が広くなっても教授の授業の進め方次第で授業は面白くなる、ということを感じた。
- ◎モチベーションが維持できない。本を読んでもあまり頭に入っていないことが多い。
- ◎コミュ症のぼっちにとってA群は辛かったです。
- ◎教員によって指導方法や成績評価方法に大きな違いがあるので、それらの差をなるべく縮めべきだと思う。しかし、授業内容はどれもためになるもので、特に基礎化学実験の授業では、かなり実験の経験がつめたし、楽しかった。
- ◎自分は理解力に欠けていると実感した
- ◎講義方法が良くないのか、せつかく興味があったからとった分野の講義もあまり深く勉強しようという気が起こらずに終わっていった。
- ◎授業名と内容にギャップあり
- ◎数学や物理学の基礎を学べたと感じました。

また、自分の能力がどの程度なのかを改めて理解することができたと思います。
大学では自分の好きなように（必ずしもそうとは限らないが）自学自習できたのでとても毎日の勉強が楽しかったです！
また、授業とは関係ないですが学校から家が近いと朝早く起きるのが辛く感じました><
そのため、1限の出席率が非常に悪かったと思います。
- ◎専門科目では学べないことを学習できとてもためになった。
- ◎いわゆるユルイ授業は確かに楽ではあるけれど、自分の為になっていると強く実感する事はできなかった。授業をもっと厳しくすると同時に、卒業に必要な単位を学生が余裕をもって履修できるような量に減らすことが必要だと思う。アメリカの大学や大学院における授業を参考にするのが良いと思う。
- ◎いろいろな分野を勉強する大切さ
- ◎英語学習の物足らなさ、大学の授業を受け続けても英語力が上昇するとは思えない。
- ◎初修外国語はいらないと感じた
- ◎自分次第なのだなあと
- ◎入学当初はやる気に満ち溢れていたのに、一年過ぎてみると何もやり遂げていないことを後悔している。

○専門以外の幅広い分野について学べて楽しかった。

◎工学部なので単位になるB群が決まっていたため、興味のあるB群を取りにくかった

◎部活との両立に悩んだ。

忙しさを言い訳にして勉強を怠ってしまったので、授業に対する不満などは特に言えません。今期からは時間を無駄にしないようにし、メリハリをつけて効率よく勉強することを心掛けたい。

◎一般教養とは言っても、非常に難しく理解に苦しむものも多かった。

しかし、内容は非常に濃いものであったので、その点はよかった。

◎講義よりゼミの方が面白かった。

理由としては、教員と学生・学生と学生との距離感が小さいので自分が授業に参加している意義を見出しやすかった。

また、分からないことがあっても質問しやすかったし、自分自身で勉強することも多かった。

もっと一般教養科目では、ゼミの量を増やしてほしい。

◎B群の科目で分からないまま授業がどんどん進むことがしばしばあったので、もっと演習の時間とその解説の時間をとって欲しかったです。歴史系の授業はどれも興味深くて面白かったです。

7. 10 農学部

◎B群科目はとても面白く京大らしさを感じたが、A群が全然面白くないし、興味が持てない。

◎教員に自由度が必要だと感じた

◎自分の専門分野以外にも社会的な常識を身につけなければならないと思いました。

◎いろんな分野の内容に接することで自分が将来的にどんな内容のことを勉強したいかというのが徐々に明確になってきた気がする。

◎授業を通して得られるものは多かったが、自分の素養ではじゅうぶんに理解しきれなかった授業もあり、そのあたりが悔やまれる。

◎京大生の腐敗、墮落を強く感じた。

◎どの科目も自分が興味あって取った科目なので、自分がどのような分野に関心を持っているのかがよくわかった。

授業中に眠くなることもあったが、数学の授業なら眠くならないことを発見した。眠くなる授業は自分が興味のない授業であることに気付いた。

1年を通して一番つらかった科目は英語。まわりの友達がとても流暢に英語を話すのは、高校時代にはあり得なかったことなので、自分の英語力の無さを初めて痛感し、つらい思いをした。総長が英語講義を増やすと言っているが、もしそのような年代に京大に入学していたなら、授業には全くついて行けず、毎時間眠気に襲われるだろうと思う。

○今までの知識の浅はかさを思い知った。

- 色々な分野のことを知ることができて面白かったです。一番学べてよかったと思うのは視野を広く持ちさまざまな角度から見ることの重要性だと思っています。
- ◎勉強は面白い。自分の興味の赴くままに図書館で本を読み漁ることが楽しいと感じるようになった。学生の本分はやはり勉強だと思った。
- しかし、そう思っていない学生が多数いるというのもまた事実である。
- そういう無駄が多すぎるのではないか。そういう輩を切り捨てていってもよいと感じるのは私だけだろうか。
- ◎最低限の教養は身につけておこうと思い高校では学ばなかった科目を履修しようとしたが、どれも一つのテーマしか取り扱わないようなものばかりで(特に文系科目)、広く浅く基礎を教えてくれる講義の少ないことに失望した
- ◎これまでの与えられてばかりの学習ではなく、自分から求めて学習していくことの重要性和、またその難しさを痛感しました。
- ◎全学共通科目で提供される授業はあくまでも入り口にすぎず、もっと深く学びたいと思うのであれば、結局は主体的に自学自習するのがよいと思った。
- ◎僕は元々勉強とか興味ないし、勉強以外の事にしか興味がないんですが、せめて、面白い授業とかあったら学生生活がより楽しくなったんちゃうかなと思います。
- 今は面白い授業とかなくて、どんどん学校から心が離れていきました。
- 先生がもっと楽しく授業してくれればよいなと思いました。
- ◎初めは高校生で受けていた授業とは全然違っていたので不安などが大きかったけれども次第に慣れて来て、自分で勉強するというスタイルに慣れて来たのはよかったと思えた。特にこれから、自分の将来の事について考える機会が多いので、今、何を勉強するかどうかという事はかなり大事だと思う。だから1年目は様々な分野の勉強に手を出してみました。これからは専門の科目が増えてくるので、それらの勉強をしっかりしていきたいと感じます。
- ◎学問の最先端にいらっしゃる教授の方々が自分の専門について語って下さるのは非常に刺激的だった。
- 自分自身、経済学を学ぶにあたって、より良い学問にしていくために人文科学、自然科学を問わず幅広い知識が必要だと考えているので若いときにこういったことを学べるのはとても有意義だった。
- ◎ただ単に卒業に必要な単位をやみくもに取ろうとするのではなく、自分が本当に興味を持った授業、あるいは自分の将来やりたい職業・研究に関連した授業を、じっくりと考えて選ぶ必要があると感じた。
- ◎大学の授業ってこんなものかと思った。勉強しなくてもなんとかなる教科が多かったので興味がないものはまるで勉強しなかった。なので教養が広がったような気はあまりしなかった。
- こんなに勉強しなくていいのかと思ったが思っただけだった。
- ◎単位を取るためだけの授業になってしまい、教養をあまり身につけられなかった。進んで勉強する意欲と学習時間の確保が重要だったと感じている。

- ◎自分の興味をもてる授業にはとても刺激を受けることができ、非常に有意義な時間を過ごせ、またこれから自分が進んでいく専門科目以外の分野の知識を得られることで一般教養としての知識を得ることができました。
- 授業間で知識がつながるのはとても楽しいです。
- 少人数の授業のほうが教員や他の学生とのコミュニケーションがとりやすく、内容も濃いものになっていると思う。
- 自分の教養は、まだまだ足りないと思った。
- ◎自分が将来携わりたい分野に関係すると思える授業にはしっかり出席しているのだと思った。しっかり勉強して取る単位と、ほとんど勉強しないで取る単位が自分の中で二分化されていることに気づいた。
- どの程度どのようにしていけば、成績が出るのか、どの程度の知識が必要なかが知りたいと思った。全学共通科目では知らないことや普段見れない写真などを見せていただけて幅が広がったと思う。
- さまざまな分野の抗議を聞くことができ面白かったです。
- ◎思ったより単位が降ってこなかった。
- 単位のため、専門との関わりなどに関係なく、少しでも興味を持った科目があれば受講してみても損はないということがよくわかった。
- ◎特になし
- 所謂楽勝科目でなくても、自分の興味のある分野の講義は自分にとって楽勝科目である。
- ◎自分で考えたことのない分野の話が聞け刺激をうけられて視野が広がった
- ◎本当に勉強する意味があるのか不安になることがありました

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A (満足した科目)

あなたが特に満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(A・B・C・Dから選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他 (自由記述)

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)

B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、A、B、C、Dのうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(A・B・C・Dから選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他 (自由記述)

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)

- 7 対象学生 8 対象回生 9 その他（自由記述）
 ◆上記のうち、最も重視する項目を選んでください（1～9から選択）（ ）

問9 履修したい科目を探す際、該当科目がすぐに見つけられたかについてお尋ねします。

A. 次の項目について、それぞれの項目をみて授業内容が容易に、判断できましたか。

	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
(1) 群・系列名をみれば、判断できた	1	2	3	4
(2) 科目名をみれば、判断できた	1	2	3	4

B. 上記の項目について、改善点や要望等があれば、ご自由にお書き下さい。（自由記述）

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。



平成25年度
2回生進級時アンケート

平成26年 2月 発行

編集 京都大学国際高等教育院

発行 京都大学 吉田南構内共回事務部教務課
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Tel 075-753-6513
